様式（文部科学省ガイドライン準拠版）

令和２年度

自 己 評 価 報 告 書

令和３年５月１０日

学校法人国際学園　九州医療スポーツ専門学校

目　次

１．学校の理念・教育目標 6
２．本年度の重点目標と取組方法およびその結果 7
基準１　教育理念・目的・育成人材像【平均評定：４．０】 8
　１－１　理念・目的・育成人材像 9
基準２　学校運営【平均評定：３．４】 13
　２－２　運営方針 14
　２－３　事業計画 16
　２－４　運営組織 17
　２－５　人事・給与制度 18
　２－６　意思決定システム 19
　２－７　情報システム 20
基準３　教育活動【平均評定：３．３】 21
　３－８　目標の設定 21
　３－９　教育方法・評価等 34
　３－10　成績評価・単位認定等 74
　３－１１　資格・免許の取得の指導 85
　３－12　教員・教員組織 95
基準４　学修成果【平均評定：３．１】 123
　４－13　就職率 123
　４－14　資格・免許の取得率 131
　４－15　卒業生の社会的評価 138
基準５　学生支援【平均評定：３．２】 144
　５－16　就職等進路 144
　５－17　中途退学への対応 155

５－18　学生相談 162
５－19　学生生活 171
５－20　保護者との連携 173
５－21　卒業生・社会人 174
基準６　教育環境【平均評定：３．４】 176
６－22　施設・設備等 176
６－23　学外実習・インターンシップ等 178
６－24　防災・安全管理 191
基準７　学生の募集と受入れ【平均評定：４．０】 192
７－25　学生募集活動 193
７－26　入学選考 194
７－27　学納金 195
基準８　財務【平均評定：３．０】 197
８－28　財務基盤 197
８－29　予算・収支計画 199
８－30　監査 200
８－31　財務情報の公開 200
基準９　法令等の遵守【平均評定：３．９】 201
９－32　関係法令、設置基準等の遵守 201
９－33　個人情報保護 202
９－34　学校評価 203
９－35　教育情報の公開 205
基準 10　社会貢献・地域貢献【平均評定：３．３】 206

「評定」の意味

４：適切に対応している。課題の発見に積極的で、今後さらに向上させるための意欲がある。

３：ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。

２：対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。

１：全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

記載責任者職・氏名は、令和２年度のものです。

１．学校の理念・教育目標

教育理念	教育目標
「士魂医才」 本校の教育理念は創立以来掲げてきた言葉であり、豊かな教養とプロフェッショナルな医療人としての技術を持ち、愛情と誇りを持って日本国民の０歳から１００歳までの真の健康に寄与し、社会に貢献できる人材の育成を目指す。	豊かな教養とプロフェッショナルな医療人としての技術を持って国民の健康に寄与できる人材の育成の為、「挨拶」「感謝」「感動」「責任」を重んじる教育目標 １．人格の完成 （1）他者への思いやり、自分の可能性を最大に伸長しようとする謙虚さと誠実さを涵養する （2）校内外に置いて自分の素直さを高めるよう向上心を育む ２．施術者、トレーナーとしての責任能力の育成 （1）入学者全員の卒業と資格試験合格を達成する （2）主体的に臨床的な基礎研究に取り組むための提供と知識・技術の定着を図る （3）地域との連携を深め、社会に貢献できる人材を育成する

記載責任者　職・氏名	校　長　　赤　木　恭　平

２．本年度の重点目標と取組方法およびその結果

令和２年度重点目標	達成計画・取組方法とその結果
１．新型コロナウイルスの世界的まん延する時として、学校全体の学生や教職員の健康を守るため、細心の環境作りを行い、安心・安全な学校の運営を行う。 ２．授業改善のための研究会の実施 ３．資格試験全員合格に向けた組織的対策の実施 ４．卒業後の進路指導の一つとしての企業説明会の改善実施 ５．地域と連携し、各種イベント等への積極的参加	１．校舎の出入り口を区別し、自動体温計・消毒剤などで予防処置 外部の人の出入りのチェック等を実施し効果をあげる。 ２．主体的な授業研究会を前年度に引き続き実施 学科内・外の多くの教員が参加した結果、それぞれの授業の現状と課題を共有して改善の方向性が一層明確になった。 ３．資格試験合格に向け各学科とともに組織的な策を講じ、試験の傾向分析をし、対策を計画的に進められた。 ４．キャリアサポートセンターを中心とした企業説明会の企画・運営が行われ、学生の積極的参加につながった。 ５．北九州市や各国体との各種イベントに残念ながら新型コロナウイルスのまん延のためほとんどが見送られた。

記載責任者　職・氏名	校　長　　赤　木　恭　平

基準１　教育理念・目的・育成人材像【平均評定：４．０】

総括と課題	今後の改善策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念と目標・ビジョンに関して日常的に教職員・学生も意識するような環境作りを行っている。課題としては新型コロナウイルスまん延による集会などでこの度は十分な行動に結び付けない年度であった。	更に具体的な行動を全員一丸となって取り組む環境作りを行うこと	なし

記載責任者　職・氏名	校　長　　赤　木　恭　平

１－１　理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか。	理念に沿った目的・育成人材像になっているか。	4	行事などで常に理念・目標の伝達を行っていく	なし	なし	理念等を記した文書 ３つのポリシー 学校ホームページ 学則、学校案内 学生便覧
	理念等は文書化するなど明確に定めているか。		教室掲示などにより 努めている	なし	なし	
	理念等において専門分野の特性は明確になっているか。		本校の専門である医療の特性について明確に定めている	なし	なし	
	理念等に応じた課程（学科）を設置しているか。		設置している	なし	なし	
	理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか。		各学科目標を掲げ取組んでいる	なし	なし	
	理念等を学生・保護者、関連業界等に周知しているか。		式典等でも広報活動においても理念の伝達に努めている	なし	なし	
	理念等の浸透度を確認しているか。		確認している	なし	なし	
	理念等を社会等の要請に的確に対応させるため、適宜、見直しを行っているか。		行っている	なし	なし	

1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか。	課程（学科）毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか。	4	明確にしている	なし	なし	学生便覧 シラバス
	教育課程、授業計画（シラバス）等の策定において関連業界等からの協力を得ているか。		協力を得ている	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤）にかかわらず教員採用において関連業界等からの協力を得ているか。		協力を得ている	なし	なし	
	学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか。		協力を得ている	なし	なし	
	教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか。		協力を得ている	なし	なし	

1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか。	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか。	4	取組んでいる	なし	なし	学生便覧
	特色ある職業実践教育に取組んでいるか。		取組んでいる	なし	なし	

1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。	中期的（3～5 年程度）視点で、学校の将来構想を定めているか。	4	定めている	なし	なし	
	学校の将来構想を教職員に周知しているか。		周知している	なし	なし	
	学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか。		周知している	周知しきれているかは不明	保護者会や学園祭など開催できれば周知したい	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念やビジョンは教職員だけでなく学生に共有できるようにイベントや行事でも常に伝達できるよう心掛け一体となって達成に向かっていく方向です。ただ、令和 2 年はコロナ禍によるイベントの実施が出来ず文章にて伝達をつとめた。	

記載責任者　職・氏名	校　長　　赤　木　恭　平

基準２　学校運営【平均評定：３．４】

総括と課題	今後の改善策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎朝の職員朝礼による情報の共有の徹底など毎日を滞りなく運営していくための施策など、また毎月２回行う管理者会議・教職員会議による情報の共有などを通し体制を整えている。 さらに、日報制度による日々の学生の様子や教職員の情報を各部署の長がとりまとめ、校長が吸い上げるような仕組みとしている。	運営の為、重要なのは責任とスピードが大切である。さらにスピードを上げる仕組みを作りたい。	

記載責任者　職・氏名	校　長　　赤　木　恭　平

２－２　運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか。	運営方針を文書化するなど明確に定めているか。	4	定めている	なし	なし	教育理念 行動指針
	運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか。		定めている	なし	なし	
	運営方針を教職員等に周知しているか。		周知している	なし	なし	
	運営方針の組織内の浸透度を確認しているか。		周知している	なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の教育理念だけでなく、法人の理念も周知し、理念に沿った行動ができるように努めている。	

記載責任者　職・氏名	校　長　　赤　木　恭　平

２－３　事業計画

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか。	中期計画（3～5 年程度）を定めているか。	4	定めている	なし	なし	組織図
	単年度の事業計画を定めているか。		定めている	なし	なし	
	事業計画に予算、事業目標等を明示しているか。		明示している	なし	なし	
	事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか。		明確にしている	なし	なし	
	事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確にしているか。		明確にしている	なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

記載責任者　職・氏名	校　長　　赤　木　恭　平

２－４　運営組織

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか。	理事会、評議員会は、寄附行為に基づき適切に開催しているか。	4	定期的に開催している	なし	なし	
	理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか。		適切に作成している	なし	なし	
	寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか。		改正している	なし	なし	

2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか。	学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか。	4	整備している	なし	なし	
	現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか。		整備している	なし	なし	
	各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか。		明確にしている	なし	なし	
	会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等		明確にしている	なし	なし	

	で明確にしているか。					
	会議、委員会等の議事録（記録）は、開催毎に作成しているか。		作成している	なし	なし	
	組織運営のための規則・規程等を整備しているか。		整備している	なし	なし	
	規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか。		改正している	なし	なし	
	学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか。		行っている	なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
規程や規則等は作成しており、なおかつ更新していくようにしている。また、理事会・評議員会等も定期的に開催しており、滞りなく行っている。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

２－５　人事・給与制度

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか。	採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか。	3	適切に運用している	なし	なし	
	適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか。		確保している	なし	なし	
	給与支給等に関する基		運用している	なし	なし	

	準・規程を整備し、適切に運用しているか。					
	昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか。		適切に運用している	なし	なし	
	人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか。		運用している	なし	人事考課制度に関して更新・運用している	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事考課に関して、毎年より良いものを更新している。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

２－６　意思決定システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか。	教務･財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか。	3	整備している。	特になし	特になし	
	意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか。		明確となっている。	特になし	特になし	
	意思決定システムは、規則･規程等で明確にしているか。		規則・規程に規定していない。	意思決定システムについて規則・規程を整備する必要がある。	意思決定システムにかかる規則・規程の整備。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教務および財務にかかる意思決定システムは構築されているものの、これを規則や規程において規定する必要がある。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

２－７　情報システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか。	学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか。	2	情報管理システムを構築してリアルタイムに管理を行っている。	特になし	特になし	
	情報システムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか。		情報管理システムによる管理を行っている。	特になし	特になし	
	学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか。		各学科において紙媒体による記録を採用している。	特に問題は生じていない。	業務に支障を来さない限り、現行制度を継続する。	
	データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか。		各校舎をVPN接続し、サーバルーム内に大型ファイルサーバを設置した上で情報の一括管理を行っている。	ファイルサーバのバックアップ増加対策と保存期間の選定	クラウド等のVPSサーバをバックアップサーバとし、天変地異や大災害発生時でもデータの素早い復旧を行う	
	システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか。		教職員用クライアントのカード認証によるログイン。 資産管理システムによる操作ログを管理。 ファイアウォールによりアクセス制限と	各管理サーバのアップデート体制とログの保管期間の調整。	サーバの管理一部をベンダーへ依頼。	

			IDS、IPS の実施。 学生向け Free-Spot とは VLAN を使用。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
構内クライアント使用におけるセキュリティポリシーの見直し	・教職員すべてカード認証にてアクセスの実施。 ・各管理系サーバは vmware を使用し HA 構成としており障害発生時でも運用を続けられる体制を整えている。 ・各フロア LAN 配線は二重化を行い、安定性・高速化を実現している。 ・各フロア・すべての教室に無線 LAN アクセスポイント・LAN コンセントを設置し、学内インフラへの柔軟なアクセス体制を整えている。	
	記載責任者　職・氏名	生涯スポーツ推進部 （IT・クリエイティブ部門含） 部　長　　波多腰　　太

基準３　教育活動【平均評定：３．３】

３－８　目標の設定

３－８－１

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	4	学科ポリシーを作成しさらに明確になった。	なし	なし	教育課程編成実施規程ほか
	職業教育に関する方針を定めているか。		臨床実習が始まりさらに明確になった。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	4	学科ポリシーを作成しさらに明確になった。	なし	なし	教育課程編成実施規程ほか
	職業教育に関する方針を定めているか。		臨床実習が始まりさらに明確になった。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	3	学生便覧、シラバスにおいて明確に定めている	学生に対して公表しているが、保護者および関係業界等には公表できていない	保護者および関係業界等には公表する場の検討	教育課程編成実施規程ほか
	職業教育に関する方針を定めているか。		監督官庁からの指導に基づいて様式の統一に取りくんでいる	文書化	文書化	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	3	学生便覧、シラバスで明確に定めている。 ディプロマポリシーに基づきカリキュラムポリシーを策定し、教育課程を編成している。	なし	なし	教育課程編成実施規程ほか
	職業教育に関する方針を定めているか。		監督官庁の指導に基づき、様式の統一に取り組んでいる。	文書化する。	文書化する。	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	3	授業シラバスを作成しシラバスの共有化を図っている。 またディプロマポリシーの策定に基づき、カリキュラムポリシーの策定し、教育課程の編成を行っている。	なし	なし	教育課程編成実施規程ほか
	職業教育に関する方針を定めているか。		職業教育にかかる内容を文章化して共有している	非常勤講師との連携	非常勤講師との情報共有のため、来校時に面談を行う	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	3	学生便覧またシラバスを作成し明記している	なし	なし	教育課程編成実施規程ほか
	職業教育に関する方針を定めているか。		シラバスに明記している	非常勤講師、臨床実習指導者への周知	非常勤講師、臨床実習指導者への情報共有を図る	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するな	4	看護学科シラバスに教育理念を踏まえて、カ	2022年のカリキュラム改正に向けて、内容の	2022年のカリキュラム改正に向けて、理念等	教育課程編成実施規程 看護学科シラバス

程の編成方針、実施方針を定めているか。	ど明確に定めているか。		リキュラム作成における基本概念（教育、環境、人間、看護、健康）からカリキュラムの構造、構築の考え方を明記している。編成方針、実施方針は定めている。	検討	に沿った教育課程の見直し・検討 教育課程編成委員会の下位組織として、カリキュラム検討委員会を立ち上げ、ガイドラインに基づいて教育課程を編成	ほか
	職業教育に関する方針を定めているか。		看護学科シラバスに明記	カリキュラム改正に伴う内容検討から職業教育に関する方針の再検討	2022年のカリキュラム改正に向けて、理念等に沿った教育課程の見直し・検討	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	3	ポリシーの設定により明確になった。	なし。	なし。	教育課程編成実施規程 ほか
	職業教育に関する方針を定めているか。		定めている。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	4	教育活動の充実を目的として「３つのポリシー」を策定し、カリキュラムポリシーの中で明文化している。	専門教育科目による知識や技能を高める意識づけを行う。	教育活動の充実を図り、教育課程を明確化する。	教育課程編成実施規程 ほか
	職業教育に関する方針を定めているか。		実習要綱等に明記し、教育の基本に据えている。	介護福祉士のイメージを明確に描けるようになる。	卒業生が就職した施設との連携や、今年度は未実施だったが卒業生	

					との交流を深める。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	4	ディプロマポリシーを作成した後、カリキュラムポリシーを作成し、シラバスを作成している。	定期的な見直しが必要である。	教育課程編成委員会で審議していくことを検討している。	教育課程編成実施規程ほか
	職業教育に関する方針を定めているか。		年度の始めに学生に対して提示している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	4	教育目標と３つのポリシーの案を作成した	なし	なし	教育課程編成実施規程ほか
	職業教育に関する方針を定めているか。		カリキュラムポリシーの案を作成した	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	4	科目ごとのカリキュラム到達目標と時間数を定めている	入国の遅れ、レベルのばらつきにより目標と一致しないときがある	様々な学生に対応できるシラバスの作成、課題、補講などを行い達成できるようにする	教育課程編成実施規程ほか
	職業教育に関する方針を		該当しない	なし	なし	

	定めているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	4	教育課程編成実施規程およびカリキュラムポリシーにおいて文書化を図っている。	特になし。	特になし。	教育課程編成実施規程 3 つのポリシー
	職業教育に関する方針を定めているか。		ディプロマポリシーにおいて文書化を図っている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

３－８－２

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	4	明確にしている。	なし	なし	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		適合している。	なし	なし	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		明確にしている。	なし	なし	
	資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体		整備されている。	なし	なし	

	制を整備しているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	4	明確にしている。	なし	なし	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		適合している。	なし	なし	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		明確にしている。	なし	なし	
	資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか。		整備されている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	3	シラバスの科目ごとの到達レベルを明示。	各科目だけでなく、総合して到達レベルに達しているか判断ができていない。	到達レベルの設定を徹底。	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		シラバスにより科目別の到達レベルを明示している	シラバスの作成だけにとどまっている	理念の周知	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援		資格取得のために授業時間外に国家試験対策やオンラインでの講義	到達レベルが学生間によって異なり、個別対応により各教員の負担	システムの見直し	

	体制を明確にしているか。		と個別対応を実施。	が大きくなる恐れがある。		
	資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか。		資格取得のために授業時間外に国家試験対策などの講義と個別対応を実施。	到達レベルが学生間によって異なり、個別対応により各教員の負担が大きくなる恐れがある。	システムの見直し	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	3	シラバスにおいて科目ごとに到達レベルを明示している。	なし	なし	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		シラバスにより科目別の到達レベルを明示しているのみである。	理念を周知させる。	授業や実習において、理念教育を行う。	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		授業において指導している。担任制を導入し、支援体制を取っている。	なし	なし	
	資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか。		資格取得のために授業時間外に国家試験対策などの講義と個別対応を実施している。	到達レベルが学生間によって異なり、個別対応により各教員の負担が大きくなる恐れがある。	動画での支援を充実させる。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示し	3	学年の進級にあたり試験を実施している	学年毎の到達レベルを設定する	理学療法コアカリキュラムを学科教員にて共	学生便覧 学則別表授業科目一覧

じた教育到達レベルを明確にしているか。	ているか。				有する。	
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		授業や実習において専門的知識・技術のみならず理念教育を行っている	理念における学年毎の適合基準を学科内にて共有する。	学会内における学年毎の適合を確認する。	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		授業において教授しており、理学療法士関連団体についても享受している	なし	なし	
	資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか。		授業及び学生への意識調査にてニーズを確認している	学生の到達レベルを把握する	学生と到達目標の共有を図る	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	3	ディプロマポリシーに明示している	ディプロマポリシーに則り各学年の到達目標は明確ではない	各学年の到達目標を設定する	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		教育理念に基づいた到達レベルを設定している	各学年の到達目標は明確ではない	各学年の到達目標を設定する	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		学年担任制を導入し学修支援を行っている	学生に合わせた学修支援方法や体制は不十分である	支援方法や学生情報など学科内での情報共有をはかる	
	資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか。		授業や学修支援に対する意見を学生より確認している	学科内での情報共有が不十分	学科内の情報共有をはかる	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	3	看護学科シラバスに各学年の到達目標を明記している。	2022年のカリキュラム改正に向けて、内容の検討	カリキュラム検討委員会等にて到達目標の見直し・検討	学生便覧 学則別表授業科目一覧 看護学科シラバス
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		教育理念を踏まえて、教育目的・目標を明確にしており、それから、各学年の到達目標を作成している。	2022年のカリキュラム改正に向けて、内容の検討	2022年のカリキュラム改正に向けて、理念・目的・目標に沿った各学年の到達目標の再検討	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		各学年の学年担当より取得指導を行っている。また、学校独自の支援体制が整っている。	なし	なし	
	資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか。		3年次は国家試験担当、就職担当の役割分担により、支援体制を整備、また、全教員によるゼミ制度に基づき支援体制を強化している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	3	定期試験（中間・期末試験）を実施している。	到達レベルを設定する。	学科教員で協議する。	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		理念に基づき作成している。	なし。	なし。	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしている		明確にしている。	支援体制の見直し。	担当を明確化する。	

	か。					
	資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか。		整備している。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	4	ディプロマポリシーの中で明文化しシラバスや実習要綱に明示している。	留学生が理解しやすいよう、分かりやすい表現の工夫をする。	理解度の個人差に対応する支援を行う。	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		教育目標は理念及び「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づいて設定している。	意図的体系的な教育内容の検討。	科目相互の重複をチェックする。	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		留学生に日本における介護福祉士資格の取得の意義について常に説明し意欲を高めている。	国家試験対策講座や補講への参加学生を増やす。	自らの資格取得の意欲を高めるために学習支援室を設置予定である。	
	資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか。		資格取得までの過程を年間計画として進めている。	留学生は個人対応が必要なため時間を要する。	学習支援室に資格取得のための自習室を併設する予定である。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	4	カリキュラムポリシーを作成し、文書化している。	特になし。	特になし。	学生便覧 学則別表授業科目一覧

明確にしているか。	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		本校の理念などに適合している。	特になし。	特になし。	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		年度初めのオリエンテーションにて資格取得の意義、取得指導・支援体制について説明している。	特になし。	特になし。	
	資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか。		資格取得指導・支援体制は整備されている。	学業に対する自主性・自発性のある行動を育成していく。	スケジュール表などを教員で管理している。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	4	１年で習得できる資格取得を目標としている。 今年度は２度の緊急事態宣言発令による休校の際には、課題提出やZOOMなどによるオンライン講義を実施した。	緊急時の迅速な課題・オンライン対応	緊急時の対応ができるよう準備する	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		理念に適合している	なし	なし	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		教員間で情報を共有し連携して指導・支援を行っている	なし	なし	
	資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体		教員間で情報を共有し連携して指導・支援を行っている	なし	なし	

	制を整備しているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	4	最低でも到達しなければならないレベルを設定している	個々の習熟度により達成が困難な場合がある	動機づけによる目標意識の向上、個別対応での学習面でのサポートをする	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		適合している	なし	なし	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		主に JLPT、J-TEST 等の日本語の試験の推奨及び対策を行っている、共にそれに対する動機付けも同時にしている	意義の説明をしても意識が低い学生や私生活で疲れているなどして取得のために長期的に勉強に取り組めない学生もいる	常に何のために勉強しているのかという目標、優先順位の確認、将来における自己イメージの確立なども授業を通してしながら長期的に JLPT などの学習に取り組めるようにする	
	資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか。		該当しない	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	4	ディプロマポリシーにおいて明示している。	特になし。	特になし。	学生便覧 学則別表授業科目一覧 シラバス
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		適合している。	特になし。	特になし。	
	資格・免許の取得を目指		資格取得を目的とした	学生によって日本語能	引き続き学生の日本語	

	す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		授業展開のほか、課外においても補講等の実施によって支援体制を整えている。	力に相当の開きがあって複数の補講クラスの開講を必要とする。	能力に応じた補講クラスの開講に努める。	
	資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか。		資格取得を目的とした個別指導・支援の時間を授業時間外に設けている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

３－９　教育方法・評価等

３－９－１

柔道整復学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	4	委員会により明確にされている。	なし	なし	教育課程編成実施規程 教育課程編成委員会に関する規程 教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		委員会により明確にされている。	なし	なし	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		配分されている。	なし	なし	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		配分されている。	なし	なし	
	修了に係る授業時数、		明示している。	なし	なし	

	単位数を明示しているか。					
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		提供している。	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		選択している。	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		学習指導は充実している。	なし	なし	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		配分している。	なし	なし	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		毎年教材作成を行い工夫している。	なし	なし	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		適切な指導であった。	なし	なし	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		作成している。	なし	なし	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		改定している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	4	委員会により明確にされている。	なし	なし	教育課程編成実施規程 教育課程編成委員会に関する規程 教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		委員会により明確にされている。	なし	なし	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		配分されている。	なし	なし	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		配分されている。	なし	なし	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		明示している。	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		提供している。	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		選択している。	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		学習指導は充実している。	なし	なし	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		配分している。	なし	なし	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫して		毎年教材作成を行い工夫している。	なし	なし	

	いるか。					
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		適切な指導であった。	なし	なし	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		作成している。	なし	なし	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		改定している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	4	理念に基づいて規程を明確している	なし	なし	学生便覧 シラバス
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		会議ごとに議事録を作成している。	なし	なし	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		はり師・きゅう師学校養成施設指定規則に準じて行っている。	なし	なし	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		全て必修科目であり、選択科目はない。	なし	なし	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		学生便覧に記載されてある。	なし	なし	
	授業科目の目標に照ら		到達レベルを設定し、	教育内容が業界の求め	業界の方に意見を賜	

	し、適切な教育内容を提供しているか。		教育内容を設定している。	ているものか否か。	る。	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		到達レベルを設定し、教育内容を設定している。	教育内容が業界の求めているものか否か。	業界の方に意見を賜る。	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		到達レベルを設定し、教育内容を設定している。	教育内容が業界の求めているものか否か。	業界の方に意見を賜る。	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		定期的な会議にて意見を頂き、反映させようとしている。	なし	なし	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		定期的な会議にて意見を頂き、可能な限り反映させている。今年度も業界の方をお招きした。	教育内容が業界の求めているものか否か	業界の方に意見を賜り、追加修正等実施。	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		行えている。	なし	なし	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		科目ごとにシラバスを作成している。	シラバス通りに進捗できているかどうか。	定期的に確認、把握する。	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		毎年内容を精査し、修正等行っている。	段階的な教育が行えているかどうか。	定期的に確認、把握する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	4	理念に基づいて規程を明確している。	なし	なし	学生便覧 シラバス
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		会議ごとに議事録を作成している。	なし	なし	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		はり師・きゅう師学校養成施設指定規則に準じて行っている。	なし	なし	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		全て必修科目であり、選択科目はない。	なし	なし	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		学生便覧に記載されてある。	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		到達レベルを設定し、教育内容を設定している。	教育内容が業界の意向に沿っているか。	業界の方に意見を賜る。	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		教育内容を設定し、授業形態を選択している。	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		授業評価を参考に授業の精度を高めるようにしている。	なし	なし	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		定期的に会議を行い、意見を頂戴し、可能な限り反映している。	なし	なし	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		定期的な会議を行い、意見を頂戴し、可能な限り反映させている。今年度も業界の方と会	教育内容が業界の意向に沿っているか。	業界の方に意見を賜り、追加修正等を実施する。	

			議を行った。			
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		学生へ意識調査を行うため随時面談を行う	なし	なし	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		授業シラバスを作成している	なし	なし	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		毎年内容を精査し、修正を行っている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	4	会議等を行い、情報共有を図り、議事録等資料の作成後学科にて共有している。 またディプロマポリシーの策定に基づき、カリキュラムポリシーの策定し、教育課程の編成を行っている。	なし	なし	教育課程編成実施規程 教育課程編成委員会に関する規程 教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		会議等を行い、情報共有を図り、議事録等資料の作成後学科にて共有している	なし	なし	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		基礎科目・専門基礎科目・専門科目に分配している	なし	なし	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目		全科目必須科目である	なし	なし	

	を適切に配分しているか。					
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		授業シラバス明示している	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		授業シラバスに則って授業を実施している	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		授業シラバスに則って授業を実施している	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		授業評価を参考に授業の精度を高めるようにしている。	なし	なし	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		授業シラバスに則って授業を実施している	なし	なし	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		授業シラバスに則って授業を実施している	なし	なし	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		学生へ意識調査を行うため随時面談を行う	なし	なし	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		授業シラバスを作成している	なし	なし	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		理学療法士作業療法士指定規則に則って校正をしている	2020年度の改正に伴う教育課程変更後の見直しを行う	理学療法教育コアカリキュラムに則って見直しを行う	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍

作業療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	3	教育課程について、会議内会議にて情報共有している	なし	なし	教育課程編成実施規程 教育課程編成委員会に関する規程 教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		学科会議の内容は議事録を作成し共有化を図っている	検討した内容の実践	担当者など役割を明確にし、確実に実践できるようにする	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		指定規則に基づき、基礎科目、基礎専門科目、専門科目に分配している	カリキュラム改正に向けて、科目の検討を再検討する	定期的に会議を行い検討する。	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		全科目必修科目である	なし	なし	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		明示している	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		シラバスに基づいて提示している	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		シラバスに基づいて、授業形態を選択している	学生による授業評価などより授業形態の見直しが不十分	学生による授業評価などを参考に授業形態を検討する	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		授業評価を参考に学習指導の見直しや工夫を行っている	教育内容の制度の確認は不十分	教員の教育力を高めるための研修会参加や教員間の授業参観の実施	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・		配分している	適切であるかモニタリングは不十分	関連職種からの情報収集とカリキュラムの検	

	演習・実習等を適切に配分しているか。				討	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		定期的な会議を行い職業実践教育の視点で工夫している	教育内容の精度の確認は不十分	授業評価や情報収集、共有をはかる	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		全体への説明、また学生に対し面談等を行い指導を行っている	なし	なし	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		作成している	なし	なし	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		会議等で定期的に見直し、改訂を行っている	科目編成のモニタリング	定期的な会議を実施し教育課程の再編成を検討する	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	3	教育課程について、学科内の会議で情報の共有化を図っている。	教育課程の評価を踏まえて、カリキュラム改正へ活用できるようにする。	定期的な検討会を実施する。	教育課程編成実施規程 教育課程編成委員会に関する規程 教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		学科会議で検討した内容について、議事録を作成し共有化を図っている。	検討した内容の実践	各担当を明確にする	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		看護師養成所指定規則に基づき、適切に配分している。	2022年のカリキュラム改正に向けて、内容の検討	カリキュラム検討委員会等にて見直し・検討	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目		全科目必修科目である。	2022年のカリキュラム改正に向けて、教科外	カリキュラム検討委員会等にて教科外活動の	

	を適切に配分しているか。			活動の内容検討	見直し・検討	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		明示している。	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		シラバスに基づいて、適切な教育内容を提供している。	教育内容の精度を高める。	教育内容についての定期的な学習会の開催	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		シラバスに基づいて、適切な授業形態を選択している。	演習の項目・時間数などの検討	会議等での問題点の共有化と改善点の明確化	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		授業科目の目標が達成できるように、シラバスに基づいて、学習指導の充実に努めている。	教育内容の精度の確認が必要であり、各教員の教育力を向上させる必要がある。	教育力を高めるための講習会参加、他教員による授業評価の実施	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		配分している。	関連業界のニーズとの整合性及び学生の適合	学生及び実習病院に対して情報収集を行う。	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		定期的な会議を行い、職業実践教育の視点で、工夫するようにしている。	なし	なし	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		全体への説明、個々人への具体的な説明を実施している。	未履修科目について、学習意欲の動機づけが難しい	定期的な指導の機会を作る。教員間の情報の共有化	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		作成している。	領域における科目担当者の協議	定期的な会議の開催	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		定期的に会議を行い、見直し・改定を行っている。	2022年のカリキュラム改正に向けて、科目の精選	カリキュラム検討委員会による定期的な会議の実施	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子

歯科衛生学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	3	会議などで情報共有をし、明確にしている。	なし。	なし。	教育課程編成実施規程 教育課程編成委員会に関する規程 教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		議事録を作成し、明確にしている。	なし。	なし。	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		基礎科目、専門基礎科目、専門科目に配分している。	一般科目の配分。	一般科目の設置。	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		全科目必修科目である。	科目によっては時間数の見直しが必要。	時間数を見直す。	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		明示している。	なし。	なし。	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		提供している。	なし。	なし。	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		選択している。	講義・演習・実習内容の精度を確認する。	評価を考える。	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		動画を使うなど、授業内容を工夫して指導を充実させている。	授業内容を充実させる。	情報共有と学科教員の協力体制を整える。	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・		配分している。	教員数の確保	演習・実習は２人体制で実施できるようにす	

	演習・実習等を適切に配分しているか。				る。	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		実践力を身につけられるよう、教材を充実させている。	１年次での臨床見学実習の場が必要。	教育課程の見直し。	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		オリエンテーションを実施し指導している。	学生の理解が不十分。	繰り返し指導していく。	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		作成している。	なし。	なし。	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		見直しを行い、改定している。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	4	教育理念、目的、目標を基に教育課程の概要を編成。指定規則に則っている。	学生の理解を深める説明の仕方を工夫する。	新カリキュラムに応じた教育課程の検討、各科目の教育内容の見直しをする。	教育課程編成実施規程 教育課程編成委員会に関する規程 教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		議事録を作成し学科会議で報告し教員共有としている。	問題提起への速やかな対応。	特になし。	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		指定規則に則って適切に配分している。	基礎科目の充実が必要。	新カリキュラムに応じた適切配分を検討し実施する。	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分している		指定規則に則って設定している。	指定外の科目も全て必修になっている。	新カリキュラム移行をスムーズに行う。	

	か。					
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		指定規則に則った時間数、単位数を学生便覧、学則に明示している。	特になし。	特になし。	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		「介護福祉士養成課程における教育内容の見直し」（厚労省）を踏まえて教育内容を提供している。	留学生への教育内容の提供は理解への工夫が必要。	授業を理解するための日本語力を高める取り組みを継続する。	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		授業科目はすべて講義・演習・実習等の授業形態に区分し、学則や学生便覧に明示している。	特になし。	特になし。	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		科目毎の理解度の確認を行うことや授業評価を参考に更なる充実を図っている。	科目によっては補助教員の配置をし連携が必要。	補助教員の確保。	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		指定規則に則って介護福祉士養成の視点から適切な授業形態で実施している。	特になし。	特になし。	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		具体的な事例を使って学習したり、介護の現場に出かけて体験的な学びを重視している。	特になし。	特になし。	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		開講科目全てが必修である。	特になし。	特になし。	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		全授業科目についてシラバス及びコマシラバスを作成している。	特になし。	特になし。	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っている		教育課程、内容は「定期的に検討し改定につい	特になし。	特になし。	

	か。		ては「教育内容の見直し」（厚労省）を踏まえて行う予定。			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	3	学生便覧に記載されている。	特になし。	特になし。	教育課程編成実施規程 教育課程編成委員会に関する規程 教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		議事録にてまとめている。	特になし。	特になし。	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		基礎科目・専門基礎科目・専門科目と配分されている。	特になし。	特になし。	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		すべての科目が必修科目となっている	特になし。	特になし。	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		学生便覧に記載されている。	特になし。	特になし。	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		シラバスに基づいて、授業運営成されている。	特になし。	特になし。	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		資格取得条件を満たすよう適切な授業形態を選択している。	特になし。	特になし。	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指		資格取得条件を満たすよう適切な授業内容・授業方法など工夫して	特になし。	特になし。	

	導は充実しているか。		いる。			
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		教育課程編成委員からのアドバイスを受け、配分している。	業界の流れを常に把握していく必要がある。	教育課程編成委員会での審議内容をよく吟味していく。	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		教育課程編成委員からのアドバイスを受け、配分している。	業界の流れを常に把握していく必要がある。	教育課程編成委員会での審議内容をよく吟味していく。	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		適切な指導がなされていない。	学生への告知が不十分である。	年度始めのオリエンテーションにて説明を実施していく。	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		作成している。	特になし。	特になし。	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		本年度、教育課程の改定を実施した。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	3	明確である	なし	なし	教育課程編成実施規程 教育課程編成委員会に関する規程 教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		なし	なし	なし	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		基礎・専門基礎・専門分野に分けられている	なし	なし	

	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		全て必修科目である	なし	なし	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		学生便覧に単位数を明示している	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		毎年変化があり、業界のニーズに合ったものの提供ができている	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		資格取得に向けた授業形態の選択を行い、技術習得レベルの差をなくしていく為、講師以外に補佐２名が対応した。	技術習得レベルの差をなくしていく	補講を行う	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		資格取得に向けた充実した授業内容である。特に今年度は感染防止対策の学習として、日々の体温・体調チェック・消毒・換気・マスク着用、実技では更にフェイスガードを着用して行った。	なし	なし	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		配分している	なし	なし	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		改善は必要である	人財育成の観点で技術以外の部分の指導	サロンシミュレーションで、接遇を含む社会人力を身につける	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		行っている	なし	なし	

	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		作成している	なし	なし	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	3	ある	なし	なし	教育課程編成実施規程 教育課程編成委員会に関する規程 教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		作成していない	なし	なし	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		該当しない	なし	なし	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		該当しない	なし	なし	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		該当しない	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		カリキュラムを作成している	定期的に見直し、幅広い学生に対応できる流れが必要	学科内における見直す場を作る	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択		該当しない	なし	なし	

	しているか。					
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		各担当が工夫して行っている	各行っている授業内容のいいところ、よくないところの共有、フィードバックが少ないため、学科全体における授業が向上しているかどうかの確認が取れない	定期的に共有、フィードバックをする場を作る	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		該当しない	なし	なし	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		該当しない	なし	なし	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		該当しない	なし	なし	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		作成している	イレギュラーな場合への対応による遅れなどが生じる。	定期的に見直し、適切な計画を徐々に作っていく	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		見直している			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	4	教育課程編成実施規程および 3 つのポリシーにおいて明確にしている。	特になし。	特になし。	教育課程編成実施規程 3 つのポリシー 学生便覧 シラバス
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		会議ごとに議事録を作成している。	特になし。	特になし。	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		基礎分野必修科目および選択科目に分類している。	特になし。	特になし。	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		必修科目と選択科目に分類している。	特になし。	特になし。	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		明示している。	特になし。	特になし。	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		授業科目の到達目標に沿った教育内容の提供に努めている。	特になし。	特になし。	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		授業科目の到達目標に応じて講義・演習・実技の授業方法を選択している。	特になし。	特になし。	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		授業科目の到達目標に応じて適宜、授業内容や授業方法に工夫を凝らしている。	特になし。	特になし。	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		職業実践教育の視点に立ち、講義・演習・実技を配分している。	特になし。	特になし。	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫して		職業実践教育の視点に立ち、職業現場から講師を招いて教育内容・	特になし。	特になし。	

	いるか。		教育方法・教材等について充実を図っている。			
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		個別に指導を行っている。	特になし。	特になし。	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		科目ごとにシラバスを作成している。	特になし。	特になし。	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		教育課程編成委員会および学科会議において定期的な見直し、改定を図っている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

３－９－２

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	4	在校生に意見聴取している	なし	なし	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		教育課程編成委員会にて意見聴取や評価を行っている	なし	なし	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を		臨床実習指導者会議で聴取している。	なし	なし	

	行っているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	4	在校生に意見聴取している	なし	なし	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		教育課程編成委員会にて意見聴取や評価を行っている	なし	なし	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		臨床実習指導者会議で聴取している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	3	年度に 2 回授業評価アンケートを実施している。	評価項目が妥当か。	検討会等を設ける。	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		最低、年に 2 度は業界や機関等に意見を頂戴する場を設けている。	頂いた意見をどのように反映させるか。	会議等を通じ、意見交換を行う。	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		卒業生の就職先の聴取のみ。	全員の聴取ができていない。	やり方の検討	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一

スポーツ鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	3	年度に 2 度の授業評価アンケートを実施している。	評価項目の妥当性。	評価内容についての検討会を設ける。	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		年に 2 回は業界や機関等に意見を頂戴する場を設けている。	頂戴した意見の反映させ方。	会議等を通じ、意見交換を行う。	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		卒業生の就職先の聴取のみである。	全員の聴取ができていない。	卒業生からの意見や評価を行う。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	3	在校生に意見聴取している	教育課程の編成及び改定において、卒業生の意見聴取や評価を行う	卒業生への意見聴取を行い、教育課程の編成を検討する	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		教育課程編成委員会にて意見聴取や評価を行っている	なし	なし	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		臨床実習指導者より意見聴取を行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	2	在校生の意見聴取を行っている	卒業生の意見聴取や評価	卒業生への意見聴取、評価を行い、教育課程編成を検討する	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		教育課程編成委員会にて意見聴取している	教育課程編成委員会での意見聴取や評価の反映	教育課程編成委員会による意見聴取や評価をもとに教育課程を行う	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		臨床実習や求人施設などの関連機関より意見聴取を行っている	卒業生や就職先からの意見聴取が不十分	卒業生や就職先より意見聴取を行い教育課程に反映する	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	3	学生による 1 回／年の授業評価を実施している。また、在校生については、適宜、面談等で情報収集を行っている。	授業評価の結果を踏まえ、教育課程編成についての協議が不足している。	定期的に会議を持ち、教育課程編成について検討する。	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		教育課程編成委員会の外部講師からのご指摘や実習病院等より、評価を頂くようにしている。	聴取の方法と評価の時期を明確にする。	聴取の方法と評価の時期について検討し、決定する。	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を		卒業生や就職先より、意見聴取をしている。	職業実践教育の効果として、評価を反映させる。	評価の時期と教育への反映について協議する。	

	行っているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	3	行っていない。	教育課程の編成及び改定における意見の把握	在校生・卒業生の意見聴取や評価をおこなう。	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		行っている。	なし。	なし。	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		行っていない。	教育効果の把握	意見聴取をする。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	4	教育課程編成委員会において介護福祉士養成施設卒業生の意見を聴取している。	在校生や卒業生の意見聴取や評価の実施。	在校生や卒業生の意見聴取や評価の結果を踏まえて教育課程の再編成を検討する。	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		教育課程編成委員会において業界や機関等の意見聴取や評価を行っている。	特になし。	特になし。	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		卒業生や就職先に意見聴取を行い養成教育の効果と課題を分析している。	効果と課題の共有化。	連携の強化を図る。	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	3	年 2 回の授業評価アンケートを実施している。	卒業生より意見聴取が行われていない。	卒業生との意見聴取をする機会を設ける。	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		教育課程編成委員会を実施し、意見聴取を行っている、	特になし。	特になし。	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		卒業生のみにしか、意見聴取を行っていない。	就職先より意見聴取が行われていない。	就職先との意見聴取をする機会を設ける。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	3	行っている	なし	なし	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		行っている	なし	なし	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	3	該当しない	なし	なし	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		該当しない	なし	なし	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		該当しない	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	4	年 2 回、授業評価アンケートを実施している。	特になし。	特になし。	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		教育課程編成委員会を開催して関連業界等から意見聴取を行っている。	特になし。	特になし。	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		卒業生および就職先から職業実践教育の効果について意見や評価を聴取している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

３－９－３

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	4	定め、共有している。 臨床実習が活用できている。	なし	なし	キャリア教育実施規程
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		毎年修正を加えながら作成している。	なし	なし	
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		学生及び臨床実習指導者より意見聴取を行っている.	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	4	定め、共有している。臨床実習が活用できている。	なし	なし	キャリア教育実施規程
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		毎年修正を加えながら作成している。	なし	なし	
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		学生及び臨床実習指導者より意見聴取を行っている.	なし	なし	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介

鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	2	定めていない。	方針を定める。	会議等を実施。	キャリア教育実施規程
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		今年度は業界の第一線で活躍している先生をお招きし、授業を実施。	教育内容が業界の求めているものか否か。	業界の方に意見を賜る。	
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		行っていない。	そういった機会がない。	そういった機会を設ける。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	2	定めていない。	方針を決定する。	方針についての会議を実施する。	キャリア教育実施規程
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		今年度は業界の第一線で活躍している先生をお招きし、授業を実施した。	教育内容が業界の意向に沿っているか。	業界の方に意見を賜る。	
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		行っていない。	卒業生の意見を聴取する。	意見や評価についてのアンケートを行う。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	3	本学科におけるキャリア教育とは臨床実習がそれに該当する．この実習にあたっては実習開始前に臨床実習指導者らと臨床実習指導者会議を通して，実習の意義や指導方法等を協議している．	なし	なし	キャリア教育実施規程
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		授業シラバスに則って授業を実施しており，特に臨床経験チェックシートを使って，教育内容や指導方法などを把握している	なし	なし	
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		学生及び臨床実習指導者より意見聴取を行っている．	教育効果に疑問を感じる事柄の一掃を協議しなければならない．	実習先への教員訪問や臨床実習指導者会議において課題解決を図る．	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	2	専門科目、また臨床実習において意義・指導方法等について説明している	キャリア教育に関する学科内の情報共有	学科会議等を通して情報共有をはかる	キャリア教育実施規程
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		各学年に応じた内容で工夫している	教育内容、方法などの学科内の情報共有	学科会議等を通して情報共有をはかる	

	キャリア教育の効果について、卒業生･就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		今年初めて卒業生を輩出したので、今後卒業生・就職先より意見聴取を行っていく	情報聴取、評価方法の検討	学科内で検討していく	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	3	専門領域の授業で、意義・指導方法等について説明している。	キャリア教育の内容の精査	授業内容について、今後検討する。	キャリア教育実施規程
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		各専門領域の授業において、各学年に応じた内容で工夫している。	授業で実施している内容について、教員間での共有化	今後会議で検討する。	
	キャリア教育の効果について、卒業生･就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		今後卒業生・就職先より評価を頂く予定である。	評価の方法等の検討	学科会議等で検討する予定	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	3	定めていない。	方針の決定	学科内で協議し、決定する。	キャリア教育実施規程
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		授業科目にて工夫をしている。	なし。	なし。	
	キャリア教育の効果について、卒業生･就職先等		行っていない。	キャリア教育効果の把握	卒試生・就職先に意見聴取する。	

	の意見聴取や評価を行っているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	4	資格取得後のキャリアについて、その意義と取り組みについて指導を行っている。	留学生のさまざまな在留目的と在留期間があり、日本でのキャリアについてビジョンがもてない。	介護福祉士でキャリアを積んで日本で活躍している外国人の事例の紹介。	キャリア教育実施規程
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		教員研修等専門部会の提言に関心を払い教育内容に反映させている。	キャリア取得希望学生への個別対応を行う。	学生のキャリアアップへの意欲を高めるために、教員のキャリアアップを推進する。	
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		卒業生の現状の意見聴取を行っているが、キャリア取得についてはまだ関心が向いていない。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	3	卒業後のあるべき姿をイメージさせていく上で、スケジュール表を作成し、計画性のある資格試験勉強を実施している。	学生によって、理解度が違う。	学生の理解度に合わせた指導をしていく。	キャリア教育実施規程
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工		スケジュール表を提出し、各教員と資格取得のための進度を確認し	学生によって取り組み姿勢が違う。	学生の卒業後をイメージさせられる指導をしていく。	

	夫しているか。		ている。			
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		取り組みを始めたばかりなので、意見聴取、評価は行っていない。	卒業生・就職先との連携を図れていない。	卒業生・就職先との連携を図っていく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	3	校内サロンシミュレーションにて実践した。	なし	なし	キャリア教育実施規程
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		実践を重ねるたびに事前教育を工夫し、取り組んでいる。	なし	なし	
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		卒業生に行った	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	3	方針は定めていないが、授業、面談などを通し、自身の将来について問い、考えさせる機会を設けている	日本の事情、現状の知識不足や情報に振り回されるなどして、将来について具体的に考えられない学生がいる	入国時から自身の将来について考える機会を設ける	キャリア教育実施規程
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工		授業でも行うが、数は多くない。	より学生が今後を考えられるような現実を反映した教材、機会等が	教室活動だけではなく様々なリアルな体験、話などを通して、視野	

	夫しているか。			必要	を広げるサポートをする必要がある	
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		特に行っていない	今後の指導の為にも、まとまった情報として集める必要がある	定期的に行う必要がある	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	4	キャリア教育実施規程において意義および指導方針等を定めている。	特になし。	特になし。	キャリア教育実施規程
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		教育課程編成委員会および関連業界等から意見しながら教育内容・教育方法・教材等に工夫を凝らしている。	特になし。	特になし。	
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		キャリア教育の効果について卒業生や就職先等から意見を聴取している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

３－９－４

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施してい	授業評価を実施する体制を整備しているか。	4	教務部が行っている。	なし	なし	授業評価アンケート 授業評価フィードバッ

るか。	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		教務部が行っている。	なし	なし	ク票
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		協力している。	なし	なし	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		他の教員による授業参観の導入。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	4	教務部が行っている。	なし	なし	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		教務部が行っている。	なし	なし	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		協力している。	なし	なし	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		他の教員による授業参観の導入。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	2	年度に 2 回授業評価アンケートを実施している。	評価項目が妥当か。	検討会等を設ける。	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評		年度に 2 回授業評価アンケートを実施してい	評価項目が妥当か。	検討会等を設ける。	

	価を行っているか。		る。			
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		ない。	協力体制を図れるようにする。	協力体制を整える場を検討。	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		評価後に面談を行っている。	科目ごとの改善策として、教授科目を変える手段しかない。	スキルアップするための場と時間を設ける。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	2	年度に 2 度の授業評価アンケートを実施している。	なし	なし	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		年度に 2 度の授業評価アンケートを実施している。	評価項目の妥当性。	評価内容についての検討会を設ける。	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		ない。	協力体制を図れるようにする。	協力体制を整える場を検討する。	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		評価後に面談を行っている。	科目ごとの改善に留まっている。	スキルアップするための場と時間を設ける。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	3	授業終了に伴い教務部が実施している	なし	なし	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		授業終了に伴い教務部が実施している	なし	なし	
	授業評価の実施におい		関連業界と関連する授	なし	なし	

	て、関連業界等との協力体制はあるか。		業科目は臨床実習であるが，実習終了後に実習指導者による自由記載での意見等を寄せてもらっている．			
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		授業評価の結果を担当教員が確認している．また他の教員による授業参観の導入を準備している	他の教員による授業参観の導入をする。	授業シラバス及び教科書の内容についての情報共有を行う。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	3	教務部が主体となり実施している	なし	なし	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		教務部が主体となり実施している	なし	なし	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		臨床実習において臨床実習指導者による評価など構築している	なし	なし	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		授業評価の結果は担当教員へフィードバックしている	授業評価に加え、他教員による授業参観	他教員による授業参観を導入し適宜フィードバックする	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	3	教務部との連携による授業評価の体制を整備している。	なし	なし	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票
	学生に対するアンケー		学生による授業評価を	授業評価の項目及び実	学科内で検討し、教務	

	ト等の実施など、授業評価を行っているか。		実施している。	施時期を検討する必要がある。	部と協議する。	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		実習施設との協力体制はできている。	各領域における評価項目の妥当性の検証	各領域の指導者会議でご意見を頂く。	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		活用している。	具体的に改善した内容の再評価	領域ごとに、改善すべき内容について検討する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	3	整備している。	なし。	なし。	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		実施している。	なし。	なし。	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		ない。	なし。	なし。	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		活用している。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	4	教務部と連携し授業評価を整備している。	特になし。	特になし。	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		学生による授業評価を各学期末２回実施している。	留学生への授業評価方法のよりわかりやすい説明の工夫。	特になし。	
	授業評価の実施におい		特になし。	特になし。	特になし。	

	て、関連業界等との協力体制はあるか。					
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		教員全員に授業評価をフィードバックして授業改善計画を提出している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	3	整備されている。	特になし。	特になし。	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		年 2 回の授業アンケートを実施している。	特になし。	特になし。	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		現場実習先の指導者と年に 1 回の振り返りを実施している。	年に複数回の振り返りが必要である。	定期的な現場実習先との振り返りを実施する。	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		授業評価結果をもとに振り返りシートを作成している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	3	整備している QR コードを読み取りアンケートに答える仕組みである。	取り組みやすいが、科目数が多いため、作業が多く年配者は時間を要する	可能な範囲の簡素化	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		行っている	なし	なし	
	授業評価の実施におい		なし	関連業界が必要として	関連業界との連携を検	

	て、関連業界等との協力体制はあるか。			いることを知る	討する	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		活用しており改善が見られた	実施は一部の教員のみである	非常勤講師も実施する	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	4	授業評価を行っている	なし	なし	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		行っている	なし	なし	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		特になし	なし	なし	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		活用している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	4	授業評価アンケートを実施している。	特になし。	特になし。	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		学生に対して授業評価アンケートを実施している。	特になし。	特になし。	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		特になし。	特になし。	特になし。	
	教員にフィードバックする		教員に対して授業評価	特になし。	特になし。	

	等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		結果をフィードバックして、授業の改善を図っている。			
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

３－10　成績評価・単位認定等

３－10－１

柔道整復学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	4	学生便覧にて明示している。	なし	なし	学則 学則施行細則 学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		学科会議にておおなっている。	なし	なし	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		運用されている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1	成績評価の基準につい	4	学生便覧にて明示して	なし	なし	学則

成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	て、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。		いる。			学則施行細則 学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		学科会議にておおなっている。	なし	なし	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		運用されている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	3	学生便覧に記載してある。	なし	なし	学則 学則施行細則 学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		複数教員で評価する場合は評価基準を統一すべく、打ち合わせや予行などを行っている。	客観的にできるよう意識してはいるが全く同じようにならない。	更に詳細な打合せ等を実施する。	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		既修得単位認定制度を設けている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	3	学生便覧に記載してある。	なし	なし	学則 学則施行細則 学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		複数教員で評価する場合は評価基準を統一する為に会議を行い統一性の確保に取り組んでいる。	客観的に評価できるよう評価用紙を作成するが、多少のずれが生じる。	更に詳細な打合せ、評価用紙作成を実施する。	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		既修得単位認定制度を設けている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	4	学生に配布する学生便覧に学則や成績評価の基準等は明示している	明示をしているが，普段から意識させておくことが重要	学生便覧を使用した事由発生時における説明を行う	学則 学則施行細則 学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		学科内にて会議等を行っている	なし	なし	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		学則に明示し、申請に対して教育課程及び授業シラバスとの適合性の確認を行い、学科内にて情報共有を行って	なし	なし	

			いる。			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	3	学則等に規定しており、学生便覧に明示している	学生への意識化と理解	全体への説明に加え、学生の理解度に合わせ個別に説明を行う	学則 学則施行細則 学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		学科会議、単位認定会議を行っている	客観性、統一性の確保	学科内の情報共有	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		学則に規定されており、運用されている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	3	学則に規定されており、学生便覧を使用して学生への説明を実施している。	なし	なし	学則 学則施行細則 学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		成績判定会議まで事前会議等を通して、客観性・統一性の確保に取組んでいる	客観性・統一性の確保の検討	評価の客観性について、協議する。	

	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		学則に規定されており、適切に運用されている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	3	学生便覧に明示している。	なし。	なし。	学則 学則施行細則 学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		学科教員で適宜協議をしている。	評価方法を統一する。	協議する時間を設ける。	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		運用している。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	4	学生便覧に学則規定として、またシラバスにおいても各科目の評価基準を明示している。	特になし。	特になし。	学則 学則施行細則 学生便覧

	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		成績については学科会議を経て、年度末に進級・卒業判定会議にて審議を行っている。	特になし。	特になし。	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		入学前の履修等については学則や規定に基き、会議において協議し校長の承諾を経て認定を行っている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	4	学生便覧にて明示している。	特になし。	特になし。	学則 学則施行細則 学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		学科会議、進級判定会議、卒業判定会議などを開催している。	特になし。	特になし。	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		学則などに規定し、運用している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	4	明確であり、学生に明示している	なし	なし	学則 学則施行細則 学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		担当教員と連携を取り定期的な現状評価を実施している	なし	なし	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		適切に運用している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	3	オリエンテーションで明示している	なし	なし	学則 学則施行細則 学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		学科内で会議を設けている	なし	なし	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		学習証明書を提出させている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	4	学則に成績評価基準を明示し、かつ、学生に対しては学生便覧において明示している。	特になし。	特になし。	学則 学則施行細則 学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		学科会議等を開催するなどして成績評価に客観性・統一性の確保に取り組んでいる。	特になし。	特になし。	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		既修得単位認定制度を設けている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

３－10－２

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	4	臨床実習の症例報告会名で機会を設けている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	4	臨床実習の症例報告会名で機会を設けている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	1	教育内容的にコンテストはなく、また研究に関してはできていない。	資格取得が優先され、研究等ができていない。	ゼミ等の検討	
				記載責任者　職・氏名	学科長　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	1	教育内容にコンテスト参加はなく、また研究に関しても行えていない。	資格取得が優先され、研究等ができていない。	ゼミや学生研究の実施についての検討を行う。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　馬男木　亨	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	3	各学年にて履修に付随する発表の機会を設けている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　永　野　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	3	臨床実習後の報告会において把握している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	1	該当なし			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	2	不十分である。	学外活動への参加意欲が乏しい。	学外活動への取り組みを促す。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握し	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握してい	3	今年度は参加することができる全企画が実施されていない。	留学生に対する理解が必要。	継続して働きかけを行う。	

ているか。	るか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	1	特になし。	在校生の学内・学外の受賞状況を把握していない。	受賞・研究業績などの情報把握を進めていく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	4	校内サロンシミュレーションにおける「お客様アンケート」にて個別の評価は把握している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	4	スピーチ大会を行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	4	把握している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

３－１１　資格・免許の取得の指導

３－11－１

柔道整復学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	4	明確に示している。	なし	なし	学生便覧 学校案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		掲示板やメールを活用し明確に示している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	4	明確に示している。	なし	なし	学生便覧 学校案内パンフレット

	資格･免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		掲示板やメールを活用し明確に示している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	2	各教員が授業等で話している。	具体的な取り組みや決め事がない。	会議等で決定する。	学生便覧 学校案内パンフレット
	資格･免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		国家試験不合格者等には聴講生制度等を設けている。	現役生に指導が偏る傾向にある。	不合格者への指導体制等の検討。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	4	各授業科目にて明確に示している	なし	なし	学生便覧 学校案内パンフレット
	資格･免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		各授業科目にて明確に示している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	4	各授業科目にて明確に示している	なし	なし	学生便覧 学校案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		各授業科目にて明確に示している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	4	明確にしている	なし	なし	学生便覧 学校案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		明確にしている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	4	明確にしている。	なし	なし	学生便覧 学校案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		明確にしている。	なし	なし	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	3	明確にしている。	なし。	なし。	学生便覧 学校案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		明確にしている。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	4	明確にしている。	特になし。	特になし。	学生便覧 学校案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		明確にしている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にし	4	年度始めのオリエンテーションで免許の内容を明確にしている。ま	特になし。	特になし。	学生便覧 学校案内パンフレット

に位置づけているか。	ているか。		た、授業内にて、資格取得の意義を説明している。			
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		資格試験直前に補講を実施し、合格率向上を目指している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	4	資格・免許の内容・取得の意義は明確であ	なし	なし	学生便覧 学校案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		事前対策セミナーの実施日など明確にしている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	3	進学や就職においての必要性を説明している	学生意識の差がある	全体に対しては	学生便覧 学校案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		授業全体が関連項目のため特別明確化していない	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	4	必要に応じて都度、学生に対して説明の機会を設けている。	特になし。	特になし。	学生便覧 学校案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		文書の掲示によって明確にしている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

３－11－２

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	4	チームを組んで整備している。	なし	なし	学則施行細則 聴講生制度について 聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		ＫＭＳサポートを活用して行っている。	出席管理、指導が難しい。	出席率を参加条件に盛り込む等の対策が必要	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体	資格・免許の取得について、指導体制を整備して	4	チームを組んで整備している。	なし	なし	学則施行細則 聴講生制度について

制はあるか。	いるか。					聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		ＫＭＳサポートを活用して行っている。	出席管理、指導が難しい。	出席率を参加条件に盛り込む等の対策が必要	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	3	国家試験対策委員を設けることとともに個別対応も実施している。	個別対応では教員間の協力体制がとれなくなる可能性がある。	協力体制の構築	学則施行細則 聴講生制度について 聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		国家試験不合格者等には聴講生制度等を設けている。	現役生に指導が偏る傾向にある。	不合格者への指導体制等の検討。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	3	国家試験対策委員を設けることとともに個別対応も実施している。	個別対応では教員間の協力体制がとれなくなる可能性がある。	定期的な教員間の情報を共有する会議を行う。	学則施行細則 聴講生制度について 聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		国家試験不合格者等には聴講生制度等を設けている。	現役生に指導が偏る傾向にある。	不合格者への遠隔指導体制等を検討する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	4	資格取得に向けて教員を専属で配置し指導している	成績不良者への対応	随時的な履修状況の把握を行うために面談を行う	学則施行細則 聴講生制度について 聴講生証

	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		資格取得に向けての情報提供をおこなっている	情報共有状況の把握	随時的に連絡を取り状況の確認を行い、面談を行う	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	3	国家試験対策担当を設け、スケジュールまた個別対応を実施している	成績不良者への対応	学科内での協力体制と情報共有	学則施行細則 聴講生制度について 聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		不合格者は聴講生制度を設けている	スケジュールや成績の把握	連絡の取り方と指導体制の構築化	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	3	就職担当、国試担当を明確にし、指導している。また、教員全体で資格・免許取得に向けてゼミ制度を設けて、個別にも指導をしている。	教員に係る負担と教員の能力差	学科会議を通して、担任及びゼミ担当より情報提供を行い共有化を図る。	学則施行細則 聴講生制度について 聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		不合格者については、聴講生制度や学習指導、国試模試の受講など、個別対応を充実させている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	2	不十分なところがある。	指導体制	教員の担当を明確にする。	学則施行細則 聴講生制度について 聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		整備していない。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	4	科目授業毎の国家試験過去問題提示や国家試験対策講座と補習授業を行う体制を整備している。	留学生には介護の日本語を確実に習得させることが課題。	介護福祉士資格を必ず取得するという意欲ももたせる。	学則施行細則 聴講生制度について 聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		不合格者には対策講座の開講を予定していたが今年度は希望者に国試対策の課題を送付した。国試受験の手続きを指導し、就職施設との連携も行った。	国試について自ら学科に連絡してくる意欲が必要。	卒業生も利用できる学習支援室の設置を予定している。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	2	聴講生制度などがあり、資格取得の指導体制は、整っている。	学生の学習状況を理解度などを把握する必要がある。	学習習熟度に合わせた指導体制を検討していく。	学則施行細則 聴講生制度について 聴講生証
	不合格者及び卒後の指		資格試験などの指導体	卒業生の参加率が悪	休日などを利用した補	

	導体制を整備しているか。		制は整備されている。	い。	講なども検討していく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	4	役割分担し整備している	個々のレベルに差がある	個々のレベルを把握した指導	学則施行細則 聴講生制度について 聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		補講の実施	個々のレベルにあった補講を役割分担し実施	補講内容に沿った担当者の役割分担	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	3	対策授業を行っている	クラス内で受験するレベルが異なることがある	可能な限り分けて対策を行う	学則施行細則 聴講生制度について 聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		次回受験のための再度意識付けを行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	3	授業内および補講における指導のほか、個別に指導を行うなどして対応にあたっている。	特になし。	特になし。	
	不合格者及び卒後の指		補講および個別指導に	特になし。	特になし。	

	導体制を整備しているか。		おいて対応している。			
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

３－12　教員・教員組織

３－12－１

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	4	専門性と授業科目を照合している。	なし	なし	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		明示し、確認している。	なし	なし	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		適合している。	なし	なし	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		連携している。	なし	なし	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		定め、確保できている。	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		明確に示している。	なし	なし	

	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		法人本部が評価制度を用いて管理している。	なし	なし	
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	4	専門性と授業科目を照合している。	なし	なし	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		明示し、確認している。	なし	なし	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		適合している。	なし	なし	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		連携している。	なし	なし	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		定め、確保できている。	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		明確に示している。	なし	なし	
	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めてい		法人本部が評価制度を用いて管理している。	なし	なし	

	るか。					
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	2	担当は本人の希望と経歴を重視している。	科目によっては教員が重なることがある。	教員数増員。	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		採用時に免許のコピーや履歴書を確認している。	確認だけで終わっている。	求める内容を明確にする。	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		学科内でそれぞれの教員の得手不得手は把握している	業界のレベルが不明確	学外の聴講等	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		していない。	人材確保に関し、業界の方と話等をしたことがない。	業界の方と話をする機会などを設ける。	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		定めていない。	採用に携わっていない。	採用に携わる。	
	専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		していない。	採用基準を明確にする	採用基準を明確する	
	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		定めていない。	採用基準を明確にする	採用基準を明確する	
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握し		把握している。	なし	なし	

	ているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	2	担当は本人の希望と経歴を重視している。	科目ごとの能力評価の実施	模擬授業等による能力評価を行う。	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		採用時に免許のコピーや履歴書を確認している。	なし	なし	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		学科内でそれぞれの教員の得手不得手は把握している。	業界のレベルが不明確である。	関連業界の先生の授業を聴講や情報を共有する。	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		連携していない。	人材確保に関し、関連業界との連携	人材確保に関し、関連業界との連携を構築する。	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		専任教員数を確保しているが、採用計画に関しては法人本部の管轄である。	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		専任・兼任については、シラバスに明示している。	教員構成についての明確化	年齢構成、男女比等について明確にする。	
	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		法人本部の管轄である。	なし	なし	
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している。	なし	なし	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	4	担当予定の教員の専門性と授業科目の内容とを照合したうえで教育に関心の高い人材を登用している 教員名簿の管理を行っている	なし	なし	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		担当予定の教員の専門性と授業科目の内容とを照合し，必要な資格等については免許証の写し等の提出をしてもらっている. 教員名簿の管理を行っている	なし	なし	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		適合している	なし	なし	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		連携している	なし	なし	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		法律に定められている専任教員数を確保している.	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		シラバスを通して明示している.	なし	なし	
	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規		理学療法学科としてはこの件については対処	なし	なし	

	程等で明確に定めているか。		していない．法人本部の範疇となる．			
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	2	教員の臨床経験や専門性を踏まえて授業科目を決めている。	教員講習会未終了の教員がいる	全員が終了できるよう計画する	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		教員に求める資格等は確認している	授業科目を担当するために必要な資格の詳細は不十分	研修会参加、学科内研修等をとおし専門性、教育力向上をはかる	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		適合している	変化していく関連業界の情報収集	情報収集および情報共有を行い教員レベルの向上をはかる	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		連携していない	教員採用について関連業界等との連携は難しい	情報収集および情報共有をはかる	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		規定に定められている教員数は確保している	授業だけでなく学生指導などの業務内容の把握と業務時間内の遂行状況を確認	学科内での情報共有と業務負担の均衡化	
	専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		明示していない	なし	なし	
	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めてい		学科としては定めていない	なし	なし	

	るか。					
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	3	臨床経験や教育経験を踏まえて、授業科目の決定をしている。また、各教員に面談を実施し、科目担当が可能かどうか確認して決定している。	教員の中には、教員講習会未修了者や教育経験がない者がいる。	できるだけ早期に、教員養成講習会を受講させる。また通信制大学での資格取得も薦める。	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		教員に求める資格については、確認している。	授業科目を担当するために必要な資格の詳細は不十分である。	教員の質の向上を図るための学習の支援を行う。	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		関連部署や実習施設等との会議を通して、関連業界等のレベルについて、情報収集している。	教員の知識、技術、技能の能力の確認が難しい。	学科内の会議での検討、実習先での会議での情報の共有化を図る。	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		連携していない。	教員採用について、関連業界等と連携することが難しい。	会議を通して、情報の共有化を図る。	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		教員数が不足していることから、年間を通して、採用に努めている。	教員養成講習会を受講後の教員の確保	採用・配置計画の早期の立案を行う。	
	専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		特には明示していない。	なし	なし	
	教員の募集、採用手続、		該当なし	なし	なし	

	昇格措置等について規程等で明確に定めているか。					
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	3	明確にしていない。	経験・資質の差が出る。	研修会等への参加。	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		明示している。	なし。	なし。	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		適合している。	なし。	なし。	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		している。	なし。	なし。	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		定めていない。	なし。	なし。	
	専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		明示していない。	なし。	なし。	
	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		不明。	なし。	なし。	

	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している。	演習・実習の教員数の確保	教員の増員	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	4	指定規則に則って、教員条件を満たす教員を指定科目に配置している。	特になし。	特になし。	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		教員資格・要件を明示し、毎年県への報告を行っている。（介護福祉士法令第５条報告）	特になし。	特になし。	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		教員はレベルアップのため研修参加を希望していたが、今年度はほとんどの研修が中止となる。	特になし。	更なるレベルの向上。	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		関連する団体に依頼したり推薦を求めることがある。	特になし。	特になし。	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		特になし。	特になし。	特になし。	
	専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		ホームページ等にて明示している。	特になし。	特になし。	
	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		特になし。	特になし。	特になし。	
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握し		講義分担表を作成し授業時数、学生数の把握	特になし。	特になし。	

	ているか。		をしている。			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	4	各資格認定団体が規定している資格要件を基準としている。	特になし。	特になし。	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		確認している。	特になし。	特になし。	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		資格継続していくための研修に参加し自己研鑽している。	特になし。	特になし。	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		連携している。	特になし。	特になし。	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		各資格認定団体の規定に準じた人員配置をしている。	特になし。	特になし。	
	専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		明示している。	特になし。	特になし。	
	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		本学科としてはこの件については対処していない。別部署が対応している。	特になし。	特になし。	
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している。	特になし。	特になし。	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司

整体セラピスト学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	4	明確である	なし	なし	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		確認している	なし	なし	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		適合している	なし	なし	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		連携が取れている	なし	なし	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		定めている	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		明示していない	なし	なし	
	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		定めていない	なし	なし	
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している	なし	なし	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	2	日本語教師養成講座履修、日本語教育能力検定の有無を確認	なし	なし	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		該当しない	なし	なし	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		ほぼ適合している	チェックが不十分	定期的にチェック、指導を行う	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		該当しない	なし	なし	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		該当しない	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		該当しない	なし	なし	
	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		該当しない	なし	なし	
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	3	当該授業科目を教授するために求められる能力・資質等を想定している。	明確な文書化に至っていない。	当該授業科目を教授するために求める能力・資質等の明確化。	時間割 学事日程
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		教員に求める必要な資格・技能等を明示して、履歴書等をもって確認している。	特になし。	特になし。	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		概ね関連業界等のレベルに適合していると思慮する。	関連業界等のレベルに適合しているかどうか判断がつきかねる。	関連業界等による外部評価を必要とする。	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		関連業界等と連携を図って人材確保に努めている。	特になし。	特になし。	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		特に定めていない。	教員の採用・配置計画を定めていない。	教員の採用・配置計画を策定する。	
	専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		教員構成を明示していない。	教員構成を明示していない。	教員構成の明示。	
	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		定めていない。	採用手続きのほかは明確にしていない。	採用手続き以外について規程等で明確にする。	
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

３－12－２

柔道整復学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	4	把握・評価できている。	なし	なし	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規 学外研修にかかる費用負担に関する内規
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		教員講習会等へ参加している。	なし	なし	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		教員研修会に参加している。	なし	なし	
	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		支援できている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	4	把握・評価できている。	なし	なし	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規 学外研修にかかる費用負担に関する内規
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		教員講習会等へ参加している。	なし	なし	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		教員研修会に参加している。	なし	なし	
	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		支援できている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	3	学生評価を基に面談等を行うほか、聴講等を実施。	学生からの評価しかない。	教員間の評価制度を設ける。	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規 学外研修にかかる費用負担に関する内規
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		している。	なし	なし	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		研修へ参加する者は多いが研究はできていない。	研究までできる時間を設けられない。	授業数や学生対応等の見直し	
	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		毎年、複数の教員が学会に参加し、資質向上に努めている。	研修会の内容をシェアできていない。	研修会の内容をシェアする場を設ける。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	3	授業終了時に授業評価を行っている。	教員による評価をしていない。	教員間の評価制度を設ける。	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規 学外研修にかかる費用負担に関する内規
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		関連業界にて行われる研修会、学会等に参加させている。	なし	なし	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		関連業界にて行われる研修会、学会等に参加している。	研究への取り組み。	研究時間を確保し、研究に取り組む。	
	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		毎年、複数の教員が学会に参加し、資質向上に努めている。	研究への取り組み。	研究時間を確保し、研究に取り組む。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	4	授業終了時に授業評価を行っている	なし	なし	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規 学外研修にかかる費用負担に関する内規
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		関連業界にて行われている研修会へ参加している	なし	なし	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		研修に参加及び研究に取り組んでいる	なし	なし	
	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		研修に参加及び研究に取り組んでいる	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　永　野　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	3	授業評価を行っている	教育力の向上	他教員による授業参観、授業評価とフィードバックの実施	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規 学外研修にかかる費用負担に関する内規
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		学術大会や研修会への参加	教員講習会未終了の教員がいる	全員が終了できるよう計画する	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		取り組んでいる	なし	なし	
	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		支援している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　題	今後の改善方策	参考資料

3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	2	年に 1 回、学生による授業アンケートを行っている。	教員の教育力に差がある。	定期的な面談と各教員に対する授業評価の実施	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規 学外研修にかかる費用負担に関する内規
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		教員養成講習会の研修計画及び各領域に関連した学会・講習会への参加を推奨している。	講義や実習指導等で学会・講習会等への参加ができていない。	実習指導のありかたを検討。研修計画を早期に立案し、実習指導等との調整を図る。	
	関連業界等との連携による教員の研修･研究に取組んでいるか。		研修については、調整を行い、極力参加するようにしている。	研修・研究へ取り組むための時間の確保が必要	研修・研究に関する計画を立案し取り組む。	
	教員の研究活動･自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		学会や研修会・学習会に関する情報提供を行ない、参加を推奨している。	積極的に取り組む教員が少ない。	主体的に取り組めるように、業務の改善を行う。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	3	授業評価を行っている。	なし。	なし。	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規 学外研修にかかる費用負担に関する内規
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		運用している。	なし。	なし。	
	関連業界等との連携による教員の研修･研究に取組んでいるか。		研修会に参加している。	なし。	なし。	
	教員の研究活動･自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		研修会・学会などの情報共有をしている。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	3	授業評価アンケート、申告する自己評価で把握している。	アンケート結果の分析が必要。	授業運営や専門性教授力について検討するため公開授業を実施する。	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規 学外研修にかかる費用負担に関する内規
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		研修計画によって研修の確保に努めている。	今年度は学会や研修会が中止となっている。	学会や研修会開催の情報を取得し、日程の調整を行い参加しやすい環境づくりを進める。	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		職能団体の主催する研修会等に積極的に参加しているが、今年度は実施できていない。	留学生を受け入れている関連業界の歴史が浅く、この分野の研修・研究の取り組みが課題。	関連業界と共同で研修体制を構築する。	
	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		大学院や大学で修学している教員に対して、勤務体制の便宜を図っている。	大学の現状や行われている研究内容など、科内で話す機会がない。	学科内で共有できることがあれば発表していく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	3	授業アンケートを実施し、教授力の把握をしている。	学生からの評価をどのように反映させていくのかが重要である。	学科内での研修を実施していくことを検討していく。	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規 学外研修にかかる費用負担に関する内規
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		各教員保有している資格更新講習会に参加している。	業務との調整が必要な場合がある。	必要に応じては、業務との調整をその都度行う。	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		取り組んでいる。	業務との調整が必要な場合がある。	必要に応じては、業務との調整をその都度行う。	
	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援している		研修会への参加を積極的に行っている。	特になし。	特になし。	

	か。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	3	教員の専門性は長けており、授業に参加し教授力を把握している	なし	なし	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規 学外研修にかかる費用負担に関する内規
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		個別に研修参加をしているが計画的ではない	なし	なし	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		関連業界の研修は積極的に参加している	なし	なし	
	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	3	ある程度の把握はしているが、特別評価はしていない	教授力の把握をより明確にするべき	定期的に教室に入り、確認、フィードバックを行う	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規 学外研修にかかる費用負担に関する内規
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		している	なし	なし	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		している	なし	なし	
	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキ		研修への参加を促している	なし	なし	

	ャリア開発を支援しているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	4	授業評価アンケートを参考にするほか、教員の授業に立ち会う機会を設けている。	特になし。	特になし。	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規 学外研修にかかる費用負担に関する内規
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		教職員研修規程に定めて運用している。	特になし。	特になし。	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		取り組んでいる。	特になし。	特になし。	
	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		支援している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

３－12－３

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	4	委員会を設置している。	なし	なし	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程		定められている。	なし	なし	

	等で明確に定めているか。					
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		しっかり構築されている。	なし	なし	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		組織的に取り組んでいる。	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		対話、メール、実習により構築されている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	4	委員会を設置している。	なし	なし	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		定められている。	なし	なし	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		しっかり構築されている。	なし	なし	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		組織的に取り組んでいる。	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		対話、メール、実習により構築されている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	3	組織化できている。	効率的で効果的かどうか。	定期的に課題をみつけ修正する。	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		分担等できてはいるが明確ではない。	規定などの明確化	職務分掌図を作成し、明確に定める。	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		連携・協力できている。	なし	なし	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		なし	具体的な組織がない。	具体的な組織の構築。	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		構築できている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	3	組織化できている。	なし	なし	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		分担等はできているが明確ではない。	規定等の明確化	規定等を作成する。	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		連携・協力できている。	なし	なし	
	授業内容・教育方法の改		組織的な取り組みをし	組織の構成	授業内容・教育方法の	

	善に関する組織的な取組があるか。		ていない。		改善に関する組織を構成する。	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		連携・協力できている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	4	各種分野において委員会設置を行っている	なし	なし	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		業務分掌にて明確にしている	なし	なし	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		年度前に次年度の授業シラバスを供覧し，関連の深い科目の担当教員間での教授内容の再確認等を行っている	なし	なし	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		授業評価をもとに教員へフィードバックを行っている フィードバック後の検証を行っている	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		年度前に次年度の授業シラバスを供覧し，関連の深い科目の担当教員間での教授内容の再確認等を行っている.	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	3	分野毎に委員会を設置している	なし	なし	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		業務分掌にて明確にしている	担当業務以外の把握不十分	学科内の情報共有を行う	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		教員間の連携、協力体制はある	計画的な協力体制構築は不十分	シラバスや担当教員による協力の必要性を事前に把握し体制を整える	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		学生による授業評価をもとに授業内容、方法の見直しを行っている	組織的な構築にはなっていない	学生による授業評価や他教員による授業参観、評価を行い組織的に行っていく	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		関連性のある科目担当者間の授業内容の確認を行っている	関連性のある科目は把握している	学科全体の連携、協力体制を整えていく	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	2	専門分野については、各領域のリーダーを決めて体制づくりをしている。	領域間の体制整備が弱い。	領域間の会議を持ち、体制を強化する。	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		教員組織における業務分担は定めている。	責任体制について、明確さに欠ける。	責任体制について、協議を行い、明確にする。	
	学科毎に授業科目担当		連携・協力体制を構築	なし	なし	

	教員間で連携・協力体制を構築しているか。		している。			
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		組織的な取り組みはない。	どの様に組織化するのか検討する必要がある。	関連する授業科目担当者間で授業内容や方法の改善について、検討する。	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		専任・兼任（非常勤）教員間で学生の状況等については連携・協力体制が構築されている。	教員全体へ浸透させる。	教科担当が中心となって兼任教員との連携・協力体制を構築しているため、教員全員で情報共有する	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	2	不十分である。	教員不足	教員の確保	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		学科長業務・担任業務などを業務分担している。	教員不足のため、学科長業務と担任業務を兼任しなければならない。	教員の確保	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		演習・実習は２人体制で行いたいが、不十分である。	教員不足	教員の確保	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		学会会議にて見直しをしている。	確実な情報共有。	学科にて協議・改善する機会を増やす。	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		協力体制はできているが不十分なところがある。			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	4	学科長を中心に各学年担任制、各専門領域性をとっている。	特になし。	特になし。	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		教員組織における業務分担・責任については、業務分掌として作成している。	特になし。	特になし。	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		授業科目担当教員間の連携・協力体制が構築されている。	特になし。	特になし。	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		教務と連携し、授業評価アンケートを組織的に行い、授業内容・教育方法の改善を図っている。	特になし。	特になし。	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		学科教育方針の理解や学生にかかる情報の共有などの協力体制を構築している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	3	業務分掌を作成し、それをもとに業務分担をしている。	特になし。	特になし。	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		各業務において、主担当者を明確にしている。	特になし。	特になし。	
	学科毎に授業科目担当		連携・協力体制を構築	特になし。	特になし。	

	教員間で連携･協力体制を構築しているか。		している。			
	授業内容･教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		組織的な取り組みについて、積極的に取り組めていない。	研修する機会を積極的に設けていなかった。	学科教員内で授業見学をする機会を計画していく。	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携･協力体制を構築しているか。		連携・協力体制を構築している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	3	特に実技では１～２人が補佐として入りサポートした	なし	なし	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		一部の業務の分担ができた	明確な業務分担	業務内容を明確に分担する	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携･協力体制を構築しているか。		構築している	なし	なし	
	授業内容･教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		非常勤講師との連携で取り組んでいる	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携･協力体制を構築しているか。		構築している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	3	している	なし	なし	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		業務分担はしているが、規定による明確化はされていない	業務分担を明確にしておく	なし	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		している	なし	なし	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		会議等で情報共有、相談をしている	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	3	整備している。	特になし。	特になし。	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		定めていない。	業務分担・責任体制を規程等で定めていない。	業務分担・責任体制を規程等で定める。	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		連携・協力体制を構築している。	特になし。	特になし。	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		学科会議において授業内容や教育方法の改善について組織的に取り	特になし。	特になし。	

			組んでいる。			
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		構築している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

基準４　学修成果【平均評定：３．１】

４－13　就職率

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	4	就職率 100%を目標としている。	なし	なし	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		本年度からＱＲコードを配布し全数調査を行う。	なし	なし	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		関係企業と情報共有ができている。	なし	なし	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		関連する企業による就職説明会を学内にて開催している	なし	なし	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		把握できているものに関しては管理できている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	4	就職率 100%を目標としている。	なし	なし	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		本年度からＱＲコードを配布し全数調査を行う。	なし	なし	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		関係企業と情報共有ができている。	なし	なし	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		関連する企業による就職説明会を学内にて開催している	なし	なし	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		把握できているものに関しては管理できている。	なし	まし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	2	具体的に目標が設定されていない。	明確に目標を定める。	目標を設定する。	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		卒業式より前に内定を頂いた者は把握できているが卒後に内定した者は把握できていない。	卒後内定者の把握。	把握方法の検討	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		卒業式より前に内定を頂いた者は把握できているが卒後に内定した者は把握できていない。	卒後内定者の把握。	把握方法の検討	
	関連する企業等と共催		今年度はコロナの影響	なし	なし	

	で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		で学内では実施できなかったが学外のセミナー等の案内は行っている。			
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		動向等は把握しているが全員ではない。	全員の動向を把握できていない。	動向を把握し、データ化する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	2	具体的に目標が設定されていない。	目標の設定	目標を設定する。	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		卒業前の内定者は把握しているが、全てを把握している訳ではない。	卒業後に内定した学生の内定者の把握	就職に関する QR コードを配布し、調査を行う予定である。	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		就職説明会に参加した企業等、求人情報による把握である。	全てを把握している訳ではない。	関連業団との情報を共有する。	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		本年度はコロナ感染蔓延により学内では実施していない。 学外のオンライン説明会の案内をしている。	なし	なし	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		動向は把握しているが、全員ではない。	全員の動向は把握できていない。	動向を把握し、データ化する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1	就職率に関する目標設	4	目標設定 100%で, 実績	なし	なし	キャリアサポートセン

就職率の向上が図られているか。	定はあるか。		も 100%である			ターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		施設見学、面接の事前に学生より届出を提出させている	なし	なし	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		就職状況について関連団体などと情報共有を行っている	なし	なし	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		関連する企業による就職説明会を学内にて開催している	なし	なし	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		就職先を学科にてデータ化して管理している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	4	就職率目標 100%と設定している	なし	なし	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		見学、就職試験受験などについて学生より届け出を提出させ把握している	なし	なし	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		就職状況について関連施設などと情報共有している	なし	なし	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		就職説明会を学内にて実施し連携している	なし	なし	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		就職先などについて学科で管理している	なし	なし	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江

看護学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	3	就職率 100%を目標としている。	なし	なし	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		就職担当を通して、活動の状況を会議等で定期的に報告するようにしている。	学生の動きと教員の把握の方法	学生への働きかけの強化と、ゼミ教員への報告を適宜行う。	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		把握している。	なし	なし	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		就職説明会を関連する業界と共催して実施している。	時期について検討	学生、関連する業界の意見等を踏まえ、実施する。	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		管理している。	なし	なし	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子

歯科衛生学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	3	希望者は全員就職している。	就職を希望しない学生の対応。	面談を実施する。	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		把握している。	なし。	なし。	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		把握している。	なし。	なし。	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行う		実施した。	今後の実施に関して検討する。	関連企業と連携して行う。	

	など、就職に関し関連業界等と連携しているか。					
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		管理している。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	4	就職 100%を目指している。	留学生の意向の把握。	就職説明会の学内実施やセミナーへの参加。	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		担任とキャリアサポートセンター職員が主に学生の就職活動を支援し、学科会議で報告され把握できている。	学生の就職に対する希望が本人のレベルと求人先の求めているレベルに大きな差がある場合がある。	留学生には介護業界に求められている人材について丁寧に説明する。	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		資格との関係で、全員専門分野へ就職する。	留学生には卒業し就職するには学費納入が重くのしかかっている。希望者全員が県の修学資金を受けることはできない。	県の修学資金と同様な条件である施設奨学金貸与の施設を増やす。	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		今年度は説明会中止が相次いだ。	留学生にはリモートやウェブでの説明会は参加が難しい。	学生の希望があればリモート対応などできるよう環境を整備していく。	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		求人及び内定、就職実績を記録し把握している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	3	就職率に関する目標設定はある。	特になし。	特になし。	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		学生との面談で就職に関する情報把握を行っている。	卒業後のキャリアをイメージできない学生が多い。	学生との面談の中で、将来設計をする必要性を説明していく。	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		把握している。	特になし。	特になし。	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		就職説明会は実施されている。	就職説明会に参加する学生が少なく。その後の学校に学生として残る学生もいる。	関連する企業などに対して参加を依頼していく。	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		適切に管理している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	3	就職希望者の就職率を100%に設定している	就職活動に取りかかるのが遅い。	個別面談で促す	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		把握している	なし	なし	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		把握している	なし	なし	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		今年度はコロナ感染を避けるため就職説明会は開催されなかったため、求人票を送付していただいた	求人情報は遠方が多く、希望する地域が少ない	早い時期より求人票を見る等、行動するよう促す	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		把握している	把握している	基準を検討し管理する	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子

日本語学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	3	全員就職させるつもりで対応している	なし	なし	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		報告するよう指示している	なし	なし	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		各部署との連携をとっている	なし	なし	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		今年度においてはしていない	なし	なし	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		している	なし	なし	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	4	目標設定を掲げている。	特になし。	特になし。	エントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		把握している。	特になし。	特になし。	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		把握している。	特になし。	特になし。	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		関連業界と連携している。	特になし。	特になし。	

	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		管理している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

４－14　資格・免許の取得率

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格･免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	4	目標設定は 100%である	なし	なし	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		資格取得に向けての内容の充実を図っている	なし	なし	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		行われている。	なし	なし	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		模擬試験の結果との整合性をチェックしており，合格率の向上を目指している.	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格･免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	4	目標設定は 100%である	なし	なし	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学		資格取得に向けての内容の充実を図っている	なし	なし	

	習支援の取組はあるか。					
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		行われている。	なし	なし	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		模擬試験の結果との整合性をチェックしており，合格率の向上を目指している．	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	3	目標設定している。	毎年原級留置者や国家試験不合格者がいる。	対策等の充実。	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		授業時間外にセミナー等を行っている。	セミナー等の内容ややり方に検討が必要。	セミナー等の内容ややり方の検討。	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		比較は行っている。	なし	なし	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		行っている。	指導方法が正しいのか。	検討する場を設ける。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	3	目標は 100%に設定している。	なし	なし	
	特別講座、セミナーの開		授業時間外に特別講義	特別講義の内容、回数、	毎年特別講義は行って	

	講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		等を行っている。	習熟度の確認	いるが、一定の習熟度の確認を行いながら進める。	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		比較を行っている。	なし	なし	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		定期的な模擬試験の結果を分析し、指導方法の改善を行い、合格率の向上を心がけている。	成績不良者への指導方法	寺子屋等の個別対応を行っているが、成績不良者への指導方法の検討会議を行う。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格･免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	3	目標設定は 100%である	なし	なし	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		最終学年の授業において資格取得に向けての内容の充実を図っている	成績不良者への支援	実力を随時測り個別の支援体制を強化していくために面談を実施する	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		関連団体等より情報を得て，チェック項目を調べている	なし	なし	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		常に指導方法と定期的な模擬試験の結果との整合性をチェックしており，合格率の向上を目指している.	成績不良者への支援	実力を随時測り個別の支援体制を強化していくために面談を実施する	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	3	国家試験合格 100%を目標設定している	なし	なし	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		国家試験対策として特別講座やセミナーを計画し学習支援している	成績不良者への個別対応	模擬試験結果や苦手分野分析し適切な対策を計画する	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		行っている	分析の精度	結果だけでなく内容分析・比較を行い学科内にて情報共有する	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		定期的に模擬試験を行い現状の把握と指導方法改善を行っている	模擬試験の時期と分析	模擬試験の時期と結果、合格率を分析し、学科内にて情報共有し計画的な指導を構築する	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	3	看護師国家試験の合格率 100%を目指している。	なし	なし	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		年間計画に従って、教員による特別講義、成績低迷者への個別指導など学習支援を行っている。また、業者からの特別講義及びセミナー等を年2～3回程度実施している。	取り組みの組織化	1年次より、計画的に積み上げ方式で 3 年間の学習支援を実施する。	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		行っている。	なし	なし	
	指導方法と合格実績と		3 年次は 1 回／月の模	学生へ効果的な指導が	教員による指導方法等	

	の関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		試を実施し、その結果を踏まえて成績低迷者への個別指導を実施している。	実施できているか評価する必要がある。	について、学生へのアンケート調査等を実施する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	3	１００％を目標としている。	なし。	なし。	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		セミナーを毎年実施している。	なし。	なし。	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		行っている。	なし。	なし。	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		行っている。	成績低迷者の底上げ	国家試験対策を充実させる。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	4	国家試験全員合格を目標にしている。	留学生に対して介護の日本語を確実に身につけさせる必要がある。	自ら学習するという習慣を定着させるため、学習支援室の設置を予定している。	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		年間計画として国試対策講座、補習授業、日本語講座等を実施している。	卒業生に向けて情報発信を行っているが、自ら課題として向き合う姿勢が見られない。	介護福祉士資格取得に対する意欲をつける。	

	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		国試及び学力評価試験、全国模試については、詳細に分析し全国水準との比較検討を行っている。	全国水準へと引き上げる。	留学生の多い学校の国試対策の調査や連携。	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		問題ごとの得点率などを分析することによって指導方法の改善を行っている。	分析結果を授業に反映する。	科目毎の得点や出題傾向の分析の指導。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	3	各資格取得に目標設定を設定している。	特になし。	特になし。	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		資格試験において、模擬試験などを実施している。	業界に関する様々な情報提供をしていく必要がある。	業界団体との連携を図っていく。	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		一部の資格試験で全国水準と比較しにくいものがある。	資格認定団体が情報を公開していない。	情報公開されていないので、各学校の HP などを参考にしていく。	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		年度末に資格試験対策の指導内容・方法などを振り返っている。	不合格者の卒業後の対応策が必要である。	学校に登校して、学習を継続していきやすい環境を作り出す。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上	資格・免許取得率に関する目標設定はある	3	全員合格を目標としている。成績低迷者は補	なし	なし	

が図られているか。	か。		講を実施したことで学力の向上に繋がった			
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		他学科教員・トレーナーの特別講義を行っている	セミナーの日程調整が困難。特にトレーナーとは、一か月前くらいでの日程調整となってしまう。	調整が可能な時期を年間計画として作っておく	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		民間資格のため、比較はしていないが合格率は100%である。	なし	なし	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		指導方法は、連携を取り改善している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	—	該当しない	なし	なし	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		該当しない	なし	なし	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		該当しない	なし	なし	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		該当しない	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	4	目標設定がある。	特になし。	特になし。	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		授業を補完する補講を設けている。	特になし。	特になし。	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		合格実績、合格率、全国水準との比較を行っている。	特になし。	特になし。	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		合格実績に応じて指導方法を見直し、指導方法の改善に努めている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

４－15　卒業生の社会的評価

柔道整復学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	3	臨床実習に伴い訪問数が増えた。	遠方の企業への訪問が難しい。	企業説明会などの機会に情報交換を行う。	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		全数把握は出来ていない。	卒業生の動向を把握しづらい。	同窓会セミナーを活用して情報を得る。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	3	臨床実習に伴い訪問数が増えた。	遠方の企業への訪問が難しい。	企業説明会などの機会に情報交換を行う。	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		全数把握は出来ていない。	卒業生の動向を把握しづらい。	同窓会セミナーを活用して情報を得る。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	1	把握できていない。	卒業生の就職先の把握。	卒業生の就職先の把握方法の検討。	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		できていない。	卒業生の就職先の把握。	卒業生の就職先の把握方法の検討。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握している	1	把握できていない。	卒業生の就職先の把握	本年度より QR コードによる就職先の把握を行うので、卒後の実態を調査する。	

	か。					
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		把握できていない。	卒業生の卒業後の個人情報の把握	卒業後に研究発表等に参加する場合は、学校に報告してもらう。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設･機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	4	卒業生の名簿を作成し、常時連絡を取りつつ管理している。	なし	なし	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		全国ないしは地方での学会発表などは把握している	卒業生の実態把握	卒業生との情報交換を行う	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設･機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	2	就職先一覧を作成し随時連絡をとっている	訪問や実態調査の実施は行っていない	卒後調査方法を検討する、また卒業生との情報交換を行う	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		把握できていない	卒業生の活動把握	卒後調査方法を検討する、また卒業生との情報交換を行う	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	3	実習病院等に就職した学生については、聞き取り調査をしている。遠方の卒業生については、学生より情報を収集している。	卒後の実態の把握方法、特に遠方の場合。	会議等で検討	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		今後把握していく方法を検討したい。	把握方法の検討	会議等で検討	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	2	不十分である。	実態を把握する。	アンケートの実施	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		不十分である。	業績を把握する。	アンケートの実施	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問する	4	連携のとれている就職先では施設奨学金の提	1 期生 2 期生 3 期生の卒業生数36名と全就職	実態把握によりより広く外国人介護福祉士の	

把握しているか。	などして卒後の実態を調査等で把握しているか。		示などで毎年就職を要請されている。	先へのアンケートを実施し、より詳細な実態を把握する必要がある。	活躍が社会的評価につながるようにする。	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		今年度はコンテスト等がほとんど中止と把握している。	特になし。	情報の把握。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	1	卒後の実態を調査などで把握していない。	卒業生の実態把握が出来ていない。	卒業生に授業内で登壇してもらい、現状報告を在校生にしてもらうことを検討していく。	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		把握していない。	卒業生の現状確認が不十分である。	卒業生との情報共有システムの構築を検討していく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	3	全てではないが、訪問・個別に連絡を取り状況を把握している。 また、数名の卒業生が現状報告のため来校してくれた。	携帯電話の番号が変わるなど直接連絡が取れなくなるケースがあった。	定期的な連絡をし、状況の把握をする	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研		把握していない	なし	なし	

	究業績等を把握しているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設･機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	3	していない	なし	なし	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		していない	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設･機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	3	卒後の実態調査を行っている。	遠方の企業は訪問や実態調査に至っていない。	遠方の企業に対しても実態調査を実施する。	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		把握していない。	卒業生との連絡体制はあるが、受賞状況や研究実績等について報告を得られていない。	卒業生との連絡を密にし、受賞状況や研究実績等について報告を受ける体制を整える。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

基準５　学生支援【平均評定：３．２】

５－16　就職等進路

柔道整復学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	3	面接練習、履歴書の確認などの支援を行っている	なし	なし	就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		就職説明会の開催にて連携をしている	なし	なし	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		全数は共有できていない。	就職活動の時期が決まっていない。	クラスごとに集約し、1つにまとめる。	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		社団法人柔道整復師会と連携している。	なし	なし	
	就職説明会等を開催しているか。		本年度はオンラインによる開催であった。	なし	なし	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		個別に対応している。	なし	なし	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		応じている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	3	面接練習、履歴書の確認などの支援を行っている	なし	なし	就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		就職説明会の開催にて連携をしている	なし	なし	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		全数は共有できていない。	就職活動の時期が決まっていない。	クラスごとに集約し、1つにまとめる。	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		社団法人柔道整復師会と連携している。	なし	なし	
	就職説明会等を開催しているか。		本年度はオンラインによる開催であった。	なし	なし	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		個別に対応している。	なし	なし	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		応じている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	2	学校としてキャリアサポートセンターを設置しているがうまく機能していない。	キャリアサポートセンターの明確化と充実。	キャリアサポートセンターの明確化と充実。	就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の		学校としてキャリアサ	キャリアサポートセン	キャリアサポートセン	

	連携など学内における連携体制を整備しているか。		ポートセンターを設置しているがうまく機能していない。	ターと教員の連携があまりうまくとれていない。	ターの明確化と連携がとれるシステムの構築。	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		面談等で聴取するが共有出来ているとは言えない。	担任までしか把握できていない。	共有する場を設ける。	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		構築できていない。	求人票を受け取るのみになっている。	連携を取れるようなシステムを構築する。	
	就職説明会等を開催しているか。		毎年 1 度は学内で開催していたが今年度はできていない。	説明会の実施。	説明会の実施。	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		相談等があれば対応している。	そういった指導をする時間をとれていない。	就職に関するセミナー等を設ける。	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		応じている。	相談があった場合のみで全員に対応できているわけではない。	何かあれば相談するよう斡旋する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	2	キャリアサポートセンターを設置しているが、機能していない。	進路支援のための組織を再配置する。	組織体制の見直し、充実化をはかる。	就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		キャリアサポートセンターが機能しておらず、担任が中心に行っている。	キャリアサポートセンターの正常運営	キャリアサポートセンターの組織を再配置する。	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		担任が面談を実施し、現状を把握しているが、学内での共有はしていない。	学内での情報の共有	学内での情報を共有する場を設ける。	

	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		求人票を受け取るのみで、連携体制を構築できていない。	連携システムの構築	連携を取れるようなシステムを構築する。	
	就職説明会等を開催しているか。		年に一度、学内で開催しているが、本年度はコロナの影響で開催していない。また、それ以外の企業は随時面談等を行っている。	なし	なし	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		全体として行っていないが、相談があれば個別に対応している。	就職に関する講座を設ける。	就職に関する講座・セミナーを設ける。	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		個別の相談に適切に応じている。	全員に行う。	就職に関する個別面談を全員に実施する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	4	面接練習、履歴書の確認などの支援を行っている	なし	なし	就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		就職説明会の開催にて連携をしている	なし	なし	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		学生の就職活動状況及び就職先について教務部へ情報提供を行っている	なし	なし	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		就職説明会を開催している。また説明会に参加できない企業につい	なし	なし	

			ては随時面談を行っている			
	就職説明会等を開催しているか。		開催している	なし	なし	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		面接練習、履歴書の確認などの支援を行っている	なし	なし	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		求人票をもとに学生個別に面談を行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	3	就職担当教員を決め整備している	なし	なし	就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		担任と就職担当教員、教務部と情報共有している	なし	なし	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		学科学生については学科内で共有している	他学科を含めた学内の状況は共有できていない	会議などで情報共有していく	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		就職説明会の開催、また随時求人などの情報交換を行っている	なし	なし	
	就職説明会等を開催しているか。		開催している	今年度は新型コロナウイルスの影響により開催できなかった	対面以外の就職説明会方法を検討する	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナ		履歴書の書き方・添削や面接の練習などの支援を行っている	なし	なし	

	ー・講座を開講しているか。					
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		就職担当教員、担任を中心に個別相談を行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	3	就職担当教員を決め、組織体制を整備している。またゼミ活動も活用している。	なし	なし	就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		ゼミ担当教員と就職担当教員との連携を図っている。	なし	なし	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		教職員会議等で把握しているが、学内の全数は共有化できていない。	学内で共有化できるように、会議等の活用	学科会議時の報告の実施	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		関連する業界等と就職に関する連携体制を構築している。	学生への情報提供の在り方	情報提供をできるだけ早くから実施する。また、関連する病院等より説明をしていただくなどのご協力を頂く。	
	就職説明会等を開催しているか。		1回／年、本学科で開催している。	なし	なし	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		業者による講座を開講している。	学生の満足度	学科内における情報の共有化と学生へのアンケート調査の実施	
	就職に関する個別の相談に適切に応じている		ゼミ教員及び3年担任が指導に当たってい	なし	なし	

	か。		る。			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	3	整備している。	なし。	なし。	就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		整備している。	なし。	なし。	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		共有している。	なし。	なし。	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		構築している。	地域ごとに求人数に偏りがある。	就職説明会を実施する。	
	就職説明会等を開催しているか。		開催していない。	開催する	開催方法を考える。	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		開講している。	なし。	なし。	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		応じている。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1	就職など進路支援のた	3	就職支援組織のキャリ	留学生については個別	外国人の介護福祉士へ	就職説明会資料

就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	めの組織体制を整備しているか。		アサポートセンターが整備されている。2年生担任教員との連携で就職へとつながっている。	の調整と丁寧な支援が必要。	の理解を深めるとともに就職先の開拓。	求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		充分な連携体制が整備されている。	留学生についてはアルバイト先が先行して学生に就職の話をすることがあり、その際教員側が情報を把握できていないことがある。	施設との連携。	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		科内会議で定期的に報告し、キャリアサポートセンターと共有している。	特になし。	特になし。	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		今年度は県社協主催の就職セミナー等中止があり活用できていない。	特になし。	特になし。	
	就職説明会等を開催しているか。		個別に対応している。	特になし。	特になし。	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		全体的な就職指導時に説明を行い、留学生にはその都度個別指導を行っている。	特になし。	特になし。	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		キャリアサポートセンターと担任との連携にて留学生には個別の相談を原則としている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1	就職など進路支援のた	2	就職希望の学生に対	特になし。	特になし。	就職説明会資料

就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	めの組織体制を整備しているか。		し、教員を配置している。			求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		就職説明会の運営にて連携を図っている。	特になし。	特になし。	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		学科会議内で活動状況を共有している。また、就職活動シートを作成し、活動記録を作成している。	特になし。	特になし。	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		構築できていない。	求人票を受け取るのみになっている。	企業との連携を深めていくシステムを構築していく。	
	就職説明会等を開催しているか。		開催している。	関連する企業の参加が少ない。	就職説明会の関連企業への参加を依頼していく。	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		履歴書の添削、面接指導などを実施している。	特になし。	特になし。	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		応じている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	3	整備している	なし	なし	就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備してい		整備している	なし	なし	

	るか。					
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		日報にて共有している	なし	なし	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		構築している	なし	なし	
	就職説明会等を開催しているか。		今年度はコロナ感染を避けるため就職説明会は開催されなかったが求人票を学生に開示した。	なし	なし	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		個別に対応した	なし	なし	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		対応している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	3	担任を中心に、教員が協力して進路指導をしている	なし	なし	就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		適宜相談、連絡をしている	なし	なし	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		担当が把握している	なし	なし	
	関連する業界等と就職		担当者と連携している	なし	なし	

	に関する連携体制を構築しているか。					
	就職説明会等を開催しているか。		していない	なし	なし	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		授業、個別において指導している	なし	なし	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		応じている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	4	キャリアサポートセンターと連携を図り、進路支援体制を整備している。	特になし。	特になし。	求人票 キャリアサポートシート 学生カルテ
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		クラス担任が学生とキャリアサポートセンターとの間に入って連携体制を整えている。	特になし。	特になし。	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		学科会議で情報の共有を図っている。	特になし。	特になし。	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		関連業界等との間で就職連携体制を構築している。	特になし。	特になし。	
	就職説明会等を開催しているか。		開催している。	特になし。	特になし。	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナ		就職指導に係る講座を開催するほか、個別指導も行っている。	特になし。	特になし。	

	一・講座を開講しているか。					
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		応じている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

５－17　中途退学への対応

柔道整復学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	4	把握している。	なし	なし	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		指導の都度、報告書を作成している。	なし	なし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		連携した体制がある。	なし	なし	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		カウンセリングの専門員を配置するなど充実している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	4	把握している。	なし	なし	面談報告書 カウンセリング集計

	指導経過記録を適切に保存しているか。		指導の都度、報告書を作成している。	なし	なし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		連携した体制がある。	なし	なし	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		カウンセリングの専門員を配置するなど充実している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	把握している。	なし	なし	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		各個人ごとに記録を作成している。	なし	なし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		担任制を採用し、相談しやすい環境を整備、またスクールカウンセラーにも来校頂いている。	カウンセラーに来校頂いていることが周知されていない。	カウンセリング等のポスター等を掲示。	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		担任等との面談やカウンセラーとの面談を実施。	カウンセラーと教員との連携は乏しい。	連携のとれるシステムの構築。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られ	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握してい	3	把握している。	なし	なし	面談報告書 カウンセリング集計

ているか。	るか。					
	指導経過記録を適切に保存しているか。		指導自由が生じた時点で書面を作成し、保存している。	なし	なし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		担任制を採用し相談しやすい環境を整備している。またスクールカウンセラーも配置している。	定期的な情報の把握	定期的に個人面談を行い、普段日常では話せないことや不安がないかを確認していく。	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		担任やスクールカウンセラーによる面談を行っている。	担任とスクールカウンセラーの連携	担任とスクールカウンセラーとの情報を密に共有する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	把握している	なし	なし	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		指導事由が生じた時点で書面作成し、保存している	なし	なし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		試験実施後等、学生全員において担任による面談を行っている	事由発生前の面談の実施	年間計画への面談時期の設定	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		担任やスクールカウンセラーによる面談を行っている	担任とスクールカウンセラーの連携	担任とスクールカウンセラーの情報共有	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	把握している	なし	なし	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		保存している	なし	なし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		個人面談や成績不良者に対する学習支援を行っている	中途退学者の早期発見と対策	面談時期や学科内での情報共有の構築化	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		担任制度の導入やカウンセラーによる面談。個別の学習支援を行っている	学習支援の計画	担任だけでなく学科として取り組む体制と情報共有	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	把握している。	中途退学の要因である成績や本来の希望入学ではない学生に対する対応	定期的な面接の実施、学習指導の充実を図る。	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		保存している。	なし	なし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		教務部、学生部等との連携を取っている。	定期的な意見交換の場の共有化を図る。	教務部、学生部との連携を深めるため、定期的な会議の実施。	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		定期的に面談を実施している。	1年次より、計画的に学習支援をする必要がある。	面談の時期・回数・方法など、計画的に実施する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	把握している。	なし。	なし。	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		作成している。	なし。	なし。	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		担任による面談を実施している。	教員２名体制の導入	学科長と担任が連携して行う。	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		カウンセラーを利用できる体制がある。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	4	退学者については個別に状況等を記録し、退学者数についても把握している。	留学の目的が様々でその見極めが難しい。	留学生特有の退学についての事例をまとめる。	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		経過記録についても記録し保存している。	特になし。	特になし。	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		定期的に個別面談を実施し、科内会議で情報を共有して取り組みを検討している。	特になし。	特になし。	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		専門の相談員は配置されているが、学科内での特別指導体制がある。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	4	把握している。	特になし。	特になし。	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		保存している。	特になし。	特になし。	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		年 3 回の個人面談を実施し、学科会議内で学生情報を教員間で共有している。	特になし。	特になし。	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		学内の心理カウンセラーとの面談を勧めている。	学科教員だけでの解決は難しい。	心理カウンセラーとの連携を図る。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	4	把握している	なし	なし	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		日報にて報告 面談報告書はデータ保管している	なし	なし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		連携を取っている	なし	なし	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		個別面談と日々の声掛けを連携し行い、情報を共有している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	該当なし	なし	なし	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		該当なし	なし	なし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		相談シートによる問題の共有化	なし	なし	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		特になし	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	4	把握している。	特になし。	特になし。	学生カルテ
	指導経過記録を適切に保存しているか。		学生個別のカルテを作成している。	特になし。	特になし。	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		海外事業部と連携を図っている。	特になし。	特になし。	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		学生個別に指導にあたっている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

５－18　学生相談

５－18－１

柔道整復学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	4	専任のカウンセラーを配備している。	なし	なし	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		環境整備されている。	なし	なし	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		行っている。	なし	なし	
	相談記録を適切に保存しているか。		学科外で保存している。	なし	なし	
	関連医療機関等との連携はあるか。		診断書をもって情報共有している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	4	専任のカウンセラーを配備している。	なし	なし	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		環境整備されている。	なし	なし	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		行っている。	なし	なし	

	相談記録を適切に保存しているか。		学科外で保存している。	なし	なし	
	関連医療機関等との連携はあるか。		診断書をもって情報共有している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	2	カウンセラーに来校頂いている。	常に在中しているわけではない。	常に在中して頂く。	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		カウンセラーに来校頂いている。	常に在中しているわけではない。	常に在中して頂く。	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		案内が不十分	学生が周知できていない。	掲示等、案内の充実。	
	相談記録を適切に保存しているか。		カウンセラーとの記録は把握できていない。	カウンセラーとの記録は把握できていない。	カウンセラーとの面談内容も把握する。	
	関連医療機関等との連携はあるか。		連携できていない。	なし	連携できるよう計画する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	3	スクールカウンセラーを配置している。	なし	なし	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		個室による面談を行っている。	なし	なし	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行		学内掲示を行っている。	案内の拡大	学科担任からも定期的に案内する。	

	っているか。					
	相談記録を適切に保存しているか。		担任との面談記録は学科内で保蔵している。スクールカウンセラーとの面談記録は学科外にて保管している。	記録内容の把握	必要な事項に関しての担任とスクールカウンセラー間で情報を共有する。	
	関連医療機関等との連携はあるか。		連携できていない。	医療機関との連携	連携体制をはかる。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	3	学校専任でのカウンセラーの配置を行っている	なし	なし	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		個室による面談を行っている	なし	なし	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		学内掲示を行っている。また学科担任からの案内も行っている	なし	なし	
	相談記録を適切に保存しているか。		面談記録は学科外にて保管している	記録内容の把握	担任とスクールカウンセラーの情報共有	
	関連医療機関等との連携はあるか。		学生の主治医の診断書をもって情報共有を行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	3	学校として専任カウンセラーによる相談を整備している	カウンセラー配置はあるが情報共有不足	カウンセラーとの情報共有	カウンセリング集計

	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		個室面談室を使用している	なし	なし	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		掲示また教員より案内を行っている	なし	なし	
	相談記録を適切に保存しているか。		カウンセラーへの相談記録は学科外にて保管	なし	なし	
	関連医療機関等との連携はあるか。		主治医診断書や必要に応じ情報聴取を行っている	情報不足	必要に応じ情報共有	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	3	専任カウンセラーを設置している。	タイムリーな対応	カウンセラーの増員	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		面談室等を使用し、行っている。	面談室等確実を確実に使用できる	面談室等の増室	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		掲示板等を利用し行っている。	なし	なし	
	相談記録を適切に保存しているか。		学科で保存している。	なし	なし	
	関連医療機関等との連携はあるか。		学生の状況によっては、連携している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1	専任カウンセラーの配	3	整備している。	なし。	なし。	カウンセリング集計

学生相談に関する体制を整備しているか。	置等相談に関する組織体制を整備しているか。					
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		行っている。	なし。	なし。	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		学科フロアの別室で対応している。	なし。	なし。	
	相談記録を適切に保存しているか。		している。	なし。	なし。	
	関連医療機関等との連携はあるか。		連携はない。	関連医療機関との連携	関連医療機関と連携する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	3	学生相談室が設置されカウンセラーの配置があるが、留学生については学科で対応している。	留学生に対応できる方法を検討する必要がある。	メールなども活用して利用を促す。	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		相談室が設置されている。	特になし。	特になし。	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		相談室利用については入学時オリエンテーション、学生生活ガイドブック等によっても行っている。	特になし。	特になし。	
	相談記録を適切に保存しているか。		相談記録は適切に保管されている。	特になし。	特になし。	
	関連医療機関等との連携はあるか。		学生の相談内容によっては医療機関との連携がある。留学生には特に手厚い連携をしてい	留学生には医療保険の重要性や疾病に対する感覚のズレがある。	入学時、医療保険の有無・有効期限の確認を継続する。	

			る。			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	2	学校専任カウンセラーを配置している。	特になし。	特になし。	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		個室での面談を実施するよう配慮している。	面談の実施場所を手配するのに難儀することがある。	相談室の配置を依頼していく。	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		掲示板などにて案内文書が掲示されている。	学生の目についているかを検討する必要がある。	学科の面談などで、利用を勧めていく。	
	相談記録を適切に保存しているか。		相談記録はカウンセラーが保存している。	必要に応じて、カウンセラーとの情報共有が必要である。	情報共有する機会を設定していく。	
	関連医療機関等との連携はあるか。		個人情報の観点より、担当者のみが状況を把握している。	必要に応じて、カウンセラーとの情報共有が必要である。	情報共有の方法を検討していく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	3	整備されている	なし	なし	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		整備されている	なし	なし	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行		行っている	なし	なし	

	っているか。					
	相談記録を適切に保存しているか。		今年度は専任カウンセラー相談の活用者がいなかった。教員への相談に関しては日報に記入している	なし	なし	
	関連医療機関等との連携はあるか。		ある	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	3	特になし	なし	担任が主に行う	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		していない	なし	なし	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		該当しない	なし	なし	
	相談記録を適切に保存しているか。		特になし	なし	なし	
	関連医療機関等との連携はあるか。		特になし	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	3	整備している。	学校カウンセラーへの相談に至っていない。	学校カウンセラーへの相談が可能である旨の告知。	学生カルテ
	相談室の設置など相談		環境整備がなされてい	特になし。	特になし。	

	に関する環境整備を行っているか。		る。			
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		行っている。	特になし。	特になし。	
	相談記録を適切に保存しているか。		学生個別のカルテにおいて保存している。	特になし。	特になし。	
	関連医療機関等との連携はあるか。		連携体制にある。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

５－18－２

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科（留学生が在学する学科のみ）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか。	留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか。	3	学科教員、キャリアサポートセンター担当、海外事業部で相談に対応している。	情報共有が課題である。	相談しやすい対応の工夫が必要。	
	留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか。		担任制をとっており、担任を中心に適切に行っている。	学生の増加に伴う対応の整備。	留学生特有の生活指導の事例の検討。	
	留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか。		介護福祉士への意識づけを行い、学習のモチベーションとしている。就職については学生の希望に沿って選択できるように支援している。	日常的な状況の把握が必要。	入国管理局、相談機関の活用に加え、自ら情報取得の指導を行う。	
	留学生に関する指導記録を適切に保存しているか。		指導記録は適切に保存されており、必要に応じて報告している。	特になし。	特になし。	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里

日本語学科（留学生が在学する学科のみ）

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか。	留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか。	3	教員と海外事業部で対応している	なし	なし	
	留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか。		行っている	学生数の変化により状況が異なる	海外事業部と連携して行う	
	留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか。		行っている	なし	なし	
	留学生に関する指導記録を適切に保存しているか。		報告シート等で報告している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科（留学生が在学する学科のみ）

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか。	留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか。	4	海外事業部を配置している。	特になし。	特になし。	学生カルテ 求人票 キャリアサポートシート
	留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか。		在籍管理のほか生活指導を行っている。	特になし。	特になし。	
	留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか。		キャリアサポートセンター、海外事業部および学科が連携して指導・支援を行っている。	特になし。	特になし。	
	留学生に関する指導記録を適切に保存してい		学生個別にカルテを設けている。	特になし。	特になし。	

	るか。					
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

５－19　学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか。	学校独自の奨学金制度を整備しているか。	4	学校法人国際学園奨学金制度を導入	特になし	現行制度維持	入学金減免規程 在校生の入学金減免制度規程
	学費の減免、分割納付制度を整備しているか。		学力特待・スポーツ学力特待・指定校推薦入試での学費減免制度を実地している。	特になし	現行制度維持	
	大規模災害発生時および家計急変時に対応する支援制度を整備しているか。		2020 年度国の政策「学びのための学生支援緊急給付金」の申請により 223 名の学生が給付金を受給	特になし	特になし	
	全ての経済的支援制度の利用について学生･保護者に情報提供しているか。		日本学生支援機構及び公的機関からの支援制度案内は逐次情報提供を行っている。	特になし	特になし	
	公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか。		随時面談対応している	特になし	特になし	
	全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか。		適切に対応している。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか。	学校保健計画を定めているか。	4	整えている。	特になし	特になし	健康管理規程
	学校医を選任しているか。		選任している	特になし	特になし	
	保健室を整備し専門職員を配置しているか。		設置している	特になし	特になし	
	定期健康診断を実施して記録を保存しているか。		定期健康診断記録簿作成、保存している。	特になし	特になし	
	有所見者の再健診について適切に対応しているか。		再診者に対して再受診案内通知書を送付し適切に対応している。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-19-3 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか。	遠隔地から就学する学生のための寮を整備しているか。	4	2 ヶ所に学校指定寮を設置している。	特になし	特になし	
	学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか。		指定学生寮長と連絡を密にして対応している。	特になし	特になし	
	学生寮の数、利用人員、充足状況は明確になっているか。		業者パンフレット等にて案内している。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか。	クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか。	4	把握している。	特になし。	特になし。	各種大会要項 大会記録
	大会への引率、補助金の交付など具体的な支援		例年引率および補助金交付を行っているが、	特になし。	引き続き支援を行う。	

	を行っているか。		今年度は新型コロナウイルスの影響によって実績はない。			
	大会成績など実績を把握しているか。		例年把握しているが、今年度は新型コロナウイルスの影響によって実績はない。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩	

５－19　学生生活

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経済的支援体制として、学費の延納や分割後納制度、学校法人奨学金制度を設けている。健康診断は年 1 回実施している。学生寮は入寮希望者に対して戸数が不足しているが、年度によって入寮希望者数に変動があるため、入寮できない学生に対しては賃貸物件の紹介にとどめている。	いずれの校舎においても看護師免許を持つ教員を配置し、急病人に対する対応に備えている。

記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩

５－20　保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか。	保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか。	4	未成年者が在学する学科を主に開催している。	未成年者が在学する学科でも開催していないところがある。	保護者会を開催できていない学科については文書の配付等によって教育活動の提供を行う。	個別面談記録 学籍簿 動態表
	個別面談等の機会を保護者に提供し、面談記録		保護者からの求めに応じて随時面談を実施し	全ての学生の保護者に個別面談等を行う場所	保護者が個別面談の機会を希望するか調査を	

	を適切に保存しているか。		て、記録を保存している。	および時間がない。	行う。	
	学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか。		適宜、担任から保護者等に対して連絡を行っている。	特になし。	特になし。	
	緊急時の連絡体制を確保しているか。		確保している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者会等の開催は、一部の学科においてしか行っていない。学生が未成年者の場合は、学業や心理面等の問題解決のために担任が適宜保護者に連絡を行い、連携を密になるよう心がけている。	

記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩

５－21　卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか。	同窓会組織を組織し、活動状況を把握しているか。	4	同窓会を組織して、活動に直接関わっている。	特になし。	特になし。	
	再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか。		相談の申し出がある都度対応している。	特になし。	特になし。	
	卒後のキャリアアップのための講座等を開講しているか。		開講している。	特になし。	特になし。	

	卒後の研究活動に対する支援を行っているか。		卒業生から情報提供や求めがあった場合に支援を行っている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-21-2 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか。	関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか。	2	行っていない。	関連業界・職能団体等との間で再教育プログラムにかかる共同開発等を行う機会に恵まれていない。	検討課題とする。	
	学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか。		研究会活動の会場提供等の協力を行っている。	さらなる連携・協力体制を図る。	検討課題とする。	
				記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか。	社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか。	3	既修得単位認定制度について入学前に告知して、規程に基づいて認定している。	特になし。	特になし。	学則 学生便覧 既修得単位認定制度のしおり
	社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか。		特に社会人学生に配慮した履修制度は設けていない。	社会人学生も、社会人ではない学生と同じ条件で履修を課している。	特に社会人学生に配慮した履修制度を設ける予定はない。	
	図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか。		特に社会人学生に配慮した利用制度を設けていない。	特になし。	特になし。	
	社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別面談を実施しているか。		社会人学生に限らず、就職等の進路相談は随時実施している。	特になし。	特になし。	

	記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
同窓会には学校教職員も携わって運営しているが、活動そのものがやや活発ではない。また、学科によっては社会人学生が在学しているが、社会人であることを理由に特に配慮を行わず、社会人ではない学生と同じ環境のもとで就学させている。	

記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩

基準６　教育環境【平均評定：３．４】

総括と課題	今後の改善策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育施設・設備・教育用具等は法令に基づいて整備を図っている。校外実習・インターンシップ等については、企業等との間で事業連携協定を締結して実施している。	特になし	

記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩

６－22　施設・設備等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具を整備しているか。	施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか。	3	国家資格養正学校としての 法規上の教室、実習室等教育に支障がないよう整備に努めている。現行では設置基準・関係法規にも適合している。	11 学科の教育備品購入要望に対して全て用立てるのは厳しい状況である。	現在 11 学科となり各学科の要望を全てにおいて 補充・完備する事は難しい面もある。年度ごとの計画を作成し対処していく	図書室運用規程 図書室の利用について文書 図書室貸出手順文書
	図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか。		図書室専任職員を配置して、蔵書の貸出を行っている。法令で定めの各学科の教育雑誌は全て充足している	学生数の増加に伴い座席数の確保が必要とである。	三密にならないようまた換気に配慮しての図書室運営が必要。	
	図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか。		学生・教員の要望に応じて蔵書購入を行っている。	特になし	特になし	
	学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか。		3F～8F の各フロアに学生懇談室を設置している。	特になし	特になし	
	施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか。		エレベーター2 基設置、全館バリアフリー 化になっており、1 階に障害者トイレを設置。エレベーター機材一式取替工事完了	特になし	特になし	
	手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか。		全館のトイレ洗面所には手動式洗浄器具（液体石鹸）を設置、清掃作業は業者に委託毎日行っている	特になし	特になし	
	卒業生に施設・設備を提供しているか。		卒業生に対しては図書館等の設備利用を許可している。	特になし	特になし	
	施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応して		施設管理署を設置し、必要に応じて工事業者に委託対応している	特になし	特になし	

	いるか。					
	施設の改築・改修、設備の更新の計画を策定し、適切に実施しているか。		全館 LED 照明設備完了.	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育上必要な施設、設備は、教育活動に支障をきたさない様に対処できる体制を整えている。また、必要に応じて教職員及び委託業者と協議の上改善を図っていく。	建物の経年劣化による修繕が発生してくるとが、現状の体制であれば随時対応していけると思われる。

記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜

６－23　学外実習・インターンシップ等

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	4	臨床実習指導要綱において明確にしている。	なし	なし	臨床実習教育要領ガイドライン
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		実習指導者会議や実習事前教育で適切に整備運用されている。	なし	なし	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		臨床実習指導者会議や講習会で意見交換を行っている。	なし	なし	
	学外実習について、成績		ガイドラインに従い準	まだ見えていない。	なし	

	評価基準を明確にしているか。		備している。			
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		臨床実習指導者会議等で実施している。	まだ見えていない。	なし	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		社会性を身につける、職業について理解を深める点で大いに効果を確認できている。	これから上がってくるであろう。	なし	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学生主体となって参画させている。	夜間部の学生は昼間に行われる行事への参加が難しい。	なし	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		就職先までは行き届いていない。	就職先の企業まで目が行き届いていない。	企業説明会の場などで案内を出す。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	4	臨床実習指導要綱において明確にしている。	なし	なし	臨種実習教育要領ガイドライン
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		実習指導者会議や実習事前教育で適切に整備運用されている。	なし	なし	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		臨床実習指導者会議や講習会で意見交換を行っている。	なし	なし	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		ガイドラインに従い準備している。	まだ見えていない。	なし	

	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		臨床実習指導者会議等で実施している。	まだ見えていない。	なし	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		社会性を身につける、職業について理解を深める点で大いに効果を確認できている。	これから上がってくるであろう。	なし	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学生主体となって参画させている。	夜間部の学生は昼間に行われる行事への参加が難しい。	なし	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		就職先までは行き届いていない。	就職先の企業まで目が行き届いていない。	企業説明会の場などで案内を出す。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　岡　太　介	

鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	1	学外実習を実施していない。	なし	なし	
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		学外実習を実施していない。	なし	なし	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		企業の方に来校頂いてはいるが企業に出向いての研修は実施していない。	なし	なし	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		学外実習を実施していない。	なし	なし	
	学外実習について実習		学外実習を実施してい	なし	なし	

	機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		ない。			
	学外実習の教育効果について確認しているか。		学外実習を実施していない。	なし	なし	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		今年度は行事等ができなかったが基本的には行事に参加させている。	なし	なし	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		ホームページ等で案内はしている。	案内方法の充実	案内方法の検討	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	1	学外実習を実施していない。	学外実習等の実施	学外実習、インターンシップ等の実施を検討する。	
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		学外実習を実施していない。	実施要項及びマニュアルの整備	実施要項及びマニュアルの整備を検討する。	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		企業研修等を実施していない。	企業研修等の実施	関連業界等との連携による企業研修等を実施するかを検討する。	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		学外実習を実施していない。	成績評価の明確化	成績評価を明確化するかを検討する。	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		学外実習を実施していない。	実習機関の確保	実習機関を確保するかを検討する。	

	学外実習の教育効果について確認しているか。		学外実習を実施していない。	なし	なし	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		今年度はコロナの影響で学校行事が中止となっているが、例年は積極的に参加させている。	なし	なし	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		ホームページ等で案内するものもある。	案内方法の充実化	案内方法を検討する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　馬男木　　亨	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	4	臨床実習指導要綱に明記している。	なし	なし	臨床実習指導要綱
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		臨床実習指導要綱に明記している。	なし	なし	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		臨床実習指導者との打ち合わせ会議の前に研修的位置づけで意見交換など行っている	なし	なし	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		評価基準を明確にして学生や指導者へ伝えている。また臨床実習指導要綱に明記している。	なし	なし	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保して		臨床実習指導者との打ち合わせ会議を臨床実習の時期に合わせて実	なし	なし	

	いるか。		施している。			
	学外実習の教育効果について確認しているか。		臨床実習後に会議を実施し、確認している。	なし	なし	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学生主体にて学園祭に参画させている。	なし	なし	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		行事の案内を学科単独ではなく、学校から行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	4	臨床実習指導要綱にて明確にしている	なし	なし	
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		臨床実習指導要綱を作成ししている	なし	なし	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		臨床実習指導者会議の中で情報交換や研修を行う	なし	なし	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		成績評価基準について明確にして学生や臨床実習指導者に伝えている	なし	なし	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		臨床実習指導者会議や定期的な連絡を行っている	なし	なし	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		臨床実習中また実習後の提出物や報告会の内	なし	なし	

			容を踏まえ学科内にて確認している			
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学園祭やボランティア活動への参加を促している	なし	なし	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		行事の案内は学校よりおこなっている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　笠　木　理　江	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	4	明確にしている。	なし	なし	
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		実習要綱・指導要綱等を整備し、適切に運用している。	内容について、毎年、検討する必要がある。	学科会議、領域会議等を通して協議する。	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		病院、施設等より関連した研修について、ご案内を頂き、できるだけ、参加・出席するようにしている。	なし	なし	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		実習評価表を作成し、基準を明確にしている。	実習先との連携を図りながら、基準を理解して頂く。	学科会議、実習指導者会議等で協議、決定する。	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		確保している。	なし	なし	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		確認している。	なし	なし	

	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		3 年生は年間ほぼ実習であるが、1・2 年生は学外実習がない時期の行事には、積極的に参加させている。	全ての行事に対して、全員参加させることがむずかしい。	行事の目的等を十分に説明する。また、時間的な調整を行う。	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		行事の案内をしている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　小　山　京　子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	3	臨床実習指導要領を作成し、明確にしている。	年度毎に見直しが必要。	学科内で協議し、改訂する。	
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		整備し、適切に運用している。	年度毎に見直しが必要。	学科内で協議し、改訂する	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		実施していない。	臨床実習の時間数確保のため、企業研修等の時間の確保が難しい。	研修できる場を設けるようにする。	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		明確にしている。	年度毎に見直しが必要。	学科内で協議し、改訂する	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		確保している。	なし。	なし。	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		実習期間を訪問し、確認している。	なし。	なし。	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させ		参画させている。	消極的な学生もがいる。	主体的に取り組めるように指導する。	

	ているか。					
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		関連企業・就職先には案内をしていない。	関連企業・就職先への案内が必要。	文書にて通知する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　中　島　紀　子	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	4	学外実習は介護福祉士養成には必須であり、その意義と重要性を明確にしている。	学外実習施設の開拓。	学外実習施設の開拓を継続する。	
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		実習要綱、指導要綱、実習の手引きなどを整備して運用している。	毎年見直しの検討をしている。	特になし。	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		今年は実施できず。	特になし。	特になし。	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		学外実習は指定実習であるので、成績評価基準を明確にしている。	特になし。	特になし。	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		学外実習の実習機関の指導者との連絡協議は実施している。	特になし。	特になし。	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		巡回指導記録や実習指導報告書等により効果を確認している。	特になし。	特になし。	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		今年度は行事が実施できていない。	特になし。	特になし。	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職		今年度は実施できず。	特になし。	特になし。	

	先に行事の案内をしているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堤　　由加里	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	4	資格取得に必要な学外実習として、明確に位置づけられている。	特定の実習先に偏っているため、幅広い体験ができる実習先の確保が必要である。	幅広い体験のできる実習先を確保していく。	
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		実施要項・マニュアルを整備している。	特になし。	特になし。	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		関連業界との連携を取りにくい。	今後の社会情勢の改善が求められる。	目的に応じた企業研修を検討していく。	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		明確にしている。	特になし。	特になし。	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		学外実習機関の指導者と連絡・協議の機会は設けている。	特になし。	特になし。	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		学外実習での活動を常に確認し、各学生の評価の取り組み姿勢を観察している。	特になし。	特になし。	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学生が中心となり、学校行事等に参画させている。	学生の参加に関する意識に温度差がみられることがある。	学科学生全員が課題を持って、取り組ませるような仕組みを検討していく。	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をして		本校 HP 内にて、幅広い行事の案内を行っている。	特定の情報のみしか、案内ができていない。	今後、幅広い学科運営などの情報を提供していくことを検討してい	

	いるか。				きたい。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	4	明確であるが、コロナ感染の影響で校内実習に切り替え実施した	最善であるか毎回確認する	振り返りアンケートから次回の改善策を検討する	
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		校内実習において適切に運用している	最善であるか毎回確認する	振り返りアンケートから次回の改善策を検討する	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		実施していない	なし	なし	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		校内実習において明確にしている	なし	なし	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		今年は校内実習のため、他学科教員・非常勤講師との連携を取った	なし	なし	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		振り返りアンケートで集約した情報を全員で共有し確認している	なし	なし	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		今年度は学校行事は開催されなかったが、校内サロンシミュレーションにて運営等の多くの学びの機会を得た	なし	なし	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		今年度は、特に感染対策のため案内していない	なし	なし	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子

日本語学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	－	該当なし	なし	なし	
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		該当なし	なし	なし	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		該当なし	なし	なし	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		該当なし	なし	なし	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		該当なし	なし	なし	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		該当なし	なし	なし	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		該当なし	なし	なし	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		該当なし	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	3	明確にしている。	特になし。	特になし。	シラバス 企業演習マニュアル 学則 学生便覧 実習記録
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		企業演習マニュアルを整備して運用している。	特になし。	特になし。	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		関連業界問うと連携して企業演習を実施している。	特になし。	特になし。	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		成績評価基準を明確にしている。	特になし。	特になし。	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		実習先と連絡・協議の機会を設けている。	特になし。	特になし。	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		成績評価、実習記録等によって確認している。	特になし。	特になし。	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		参画させている。	特になし。	特になし。	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		卒業生にのみ案内している。	関連業界や就職先にまで案内するに至っていない。	関連業界や就職先に案内することを検討する。	
				記載責任者　職・氏名	副校長（学科長兼任）味 村 吉 浩	

６－24　防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか。	学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備しているか。	4	小倉北消防署に消防計画書及び防災訓練マニュアル書を提出している。	特になし	特になし	
	施設･設備の耐震化に対応しているか。		現状では行っていない	特になし	特になし	
	消防設備等の整備および保守点検は法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか。 防災（消防）訓練を定期的に実施し、記録を保存しているか。		消防設備の整備、点検は資格有する指定業者に業務委 託、必要に応じて修理 改善を行っている。毎 年２回消防訓練を実地、 防火訓練計画書を小倉 北消防署に提出し、書類は記録、保存している。	特になし	特になし	
	備品の転倒防止など安全管理を徹底しているか。		不具合がある場合には指定業者に業務委託順次改善している。	特になし	特になし	
	教職員・学生に防災研修・教育を行っているか。		教職員、学生参加した。消防訓練を通して防災意識の向上を図る。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか。	学校安全計画を策定しているか。	4	警備会社と業務委託、校舎内外に防犯カメラを設置、所轄警察署とも連絡を密にして不測の事態に対応できる体制を整えていく。事故	玄関ドアが２か所あり、比較的容易に入りやすい構造になっている。来客と不審者の区別が必要となってくる。	特になし	
	学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか。					

	授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか。		対応マニュアルを作成して適切な対応に対応している。			
	薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか。					
	担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか。		実習先での安全管理、指導については学科別に対応している。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
消防計画書を作成し年 2 回の消防訓練を実地している。	特になし

記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜

基準７　学生の募集と受入れ【平均評定：４．０】

総括と課題	今後の改善策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集については、規制に基づいた活動を行っている。入学選考についてはほとんどの教職員が関わって、学科別応募者・入学者数などのデータ管理も行っている。	下記にも記載したが、市場の選択と集中が非常に重要な一年となるため、今まで以上に徹底して行う	

７－25　学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか。	高等学校における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか。	4	可能な限り進学説明会に参加している	ある一手期間重なるガイダンスが多々ある	選択と集中で効果的なガイダンスに参加する	
	高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか。		毎年 5 月に高校教員対象説明会を実施している	高校側のスケジュールの関係で希望通りの高校参加が無い場合がある	年一回の説明会を年二回にするなどの工夫も必要	
	教員または保護者向けの学校案内等を作成しているか。		作成している。 昨年から継続して活用中	学費支払に関して厳しい家庭が年々増加傾向	新たな学費支払いリーフなどの作成も検討している	
				記載責任者　職・氏名	広報部長　　村　方　浩　典	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
7-25-2 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか。	入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか。	4	規定通りの取り組みを行っている	特になし	特になし	
	専修学校団体が行う自主規制に則した募集活動を行っているか。		行っている	特になし	特になし	
	志願者等からの入学相談に適切に対応しているか。		電話・個別相談・ZOOMなど、相手の要望に応じて対応している	特になし	特になし	
	学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に分かりやすく紹介しているか。		行っている	昨年度の不足部分を克服して十分に対応が出来ている	現状は特になし	
	広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備し		行っている	現状特になし	特になし	

	ているか。					
	体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫などを行っているか。		行っている	特になし	日程・時間の工夫に取り組んでいる	
	志願者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取り入れているか。		行っている	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	広報部長　　村　方　浩　典	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
昨年度の振り返りを行い、市場の変化に伴い選択と集中を行い、より効果的・効率性を重視した広報活動を展開している	福岡・北九州・下関・大分などある程度狙った地区からの多くの学生獲得に繋がった一年となった。数字的にも過去最高の入学生を迎えることが出来た。

記載責任者　職・氏名	広報部長　　村　方　浩　典

７－26　入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか。	入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか。	4	学則および入試規程に定めている。	特になし	特になし	学則 入試規程 入試判定会議資料 学生募集要項
	入学選考等は、規程に基づき適切に運用しているか。		規程に基づく運用を行っている。	特になし	特になし	
	入学選考の公平性を確保するための合否判定		入試判定会議において公平な合否判定を行っ	特になし	特になし	

	体制を整備しているか。		ている。			
				記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか。	学科ごとの合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか。	4	学科単位の合格および辞退についてデータに記録している。	特になし。	特になし。	入学願書 入試判定会議資料 学生募集要項
	学科ごとの入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか。		学科単位の入学者の傾向を分析し、学科において授業方法の検討を進めている。	特になし。	特になし。	
	学科別応募者・入学者数の予測数値を算出しているか。		算出している。	学科によっては予測数値と実際の数値との間でかい離が見られる。	定期的な予測数値の見直し。	
	財務等の計画数値と応募者数の予測値との整合性を図っているか。		図っている。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は選考基準に基づいて適切に行っている。学科ごとの合格率および辞退率をデータ化して、授業方法の検討などに反映させるようにしている。	特になし

記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩

７－27　学納金

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか。	学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか。	4	明確にしている。	特になし	特になし	学生募集要項
	学納金の水準を把握しているか。		把握している。	特になし	特になし	
	学納金等徴収する金額はすべて明示しているか。		学生募集要項において明示している。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
7-27-2 入学辞退者に対し授業料等について適切な取扱いを行っているか。	文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取り扱っているか。	4	初年度納付金を納入後に入学辞退の入学予定者に対しては、学生募集要項記載事項に基づいて入学金以外の学納金は速やかに返済している。特に問題となる事案はなかった。	現状で問題なし	現状で問題なし	学生募集要項
				記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現状の方針で引き続き対応して行く。	特になし

記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜

基準８　財務【平均評定：３．０】

８－28　財務基盤

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
8-28-1 学校および法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか。	応募者数･入学者数および定員充足率の推移を把握しているか。	3	把握している。	特になし。	特になし。	
	収入と支出のバランスがとれているか。		バランスが取れている。	入学生獲得。	募集の方法を工夫し、学生獲得につなげる。	
	貸借対照表の翌年度繰越消費収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか。		立てている。	特になし。	特になし。	
	消費収支計算書の当年度消費収入超過額がマイナスになっている場合、その原因を正確に把握しているか。		把握している。	特になし。	特になし。	
	設備投資が過大になっていないか。		なっていない。	特になし。	特になし。	
	負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか。		なっている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
8-28-2 学校および法人運営にかかる主要な財務数値	最近 3 年間の収支状況（消費収支・資金収支）による財務分析を行っ	3	行っている。	特になし。	特になし。	財務諸表

に関する財務分析を行っているか。	ているか。					
	最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか。		行っている。	特になし。	特になし。	
	最近 3 年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか。		策定している。	特になし。	特になし。	
	キャッシュフローの状況を示すデータはあるか。		ある。	特になし。	特になし。	
	教育研究比率、人件費比率は適切な数値になっているか。		なっている。	特になし。	特になし。	
	コスト管理を適切に行っているか。		行っている。	特になし。	特になし。	
	収支の状況について自己評価しているか。		している。	特になし。	特になし。	
	改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか。		策定している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各施設団体等に提出する必要があるものが多く、収支計算書や償還計画など、一年中扱っていることが多い。財政基盤として、学生の確保が最重要課題だと認識している。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

８－29　予算・収支計画

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか。	予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか。	3	整合性を図っている。	特になし。	特になし。	
	予算の編成過程および決算過程は明確になっているか。		明確になっている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
8-29-2 予算および計画に基づき適正に執行管理を行っているか。	予算の執行計画を策定しているか。	3	策定している。	特になし。	特になし。	
	予算と決算に大きなかい離を生じていないか。		生じていない。	特になし。	特になし。	
	予算過程が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか。		行っている。	特になし。	特になし。	
	予算規程、経理規程を整備しているか。		整備している。	特になし。	特になし。	
	予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っているか。		行っている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会を通して予算案の策定発表、また補正予算案等も発表し確認を試みている。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

８－30　監査

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
8-30-1 私立学校法および寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか。	私立学校法および寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか。	3	実施している。	特になし。	特になし。	
	監査報告書を作成し理事会等に報告しているか。		報告している。	特になし。	特になし。	
	監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか。		実施している。	特になし。	特になし。	
	監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか。		対応している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
監事のほかに会計士も足を運び、定期的に状況報告と確認を行っている。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

８－31　財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
8-31-1	財務公開規程を整備し、	3	運用している。	特になし。	特になし。	

私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか。	適切に運用しているか。					
	公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか。		作成している。	特になし。	特になし。	
	財務公開の実績を記録しているか。		記録している。	特になし。	特になし。	
	公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか。		出来る限り取り組んでいる。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今後も、情報公開について積極的な公開を心がけるとともに、適正な情報を公開することを前提に作成していく。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

基準９　法令等の遵守【平均評定：３．９】

９－32　関係法令、設置基準等の遵守

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか。	関係法令および設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等を行っているか。	4	関係法令に基づいて、必要な諸届等を行っている。	特になし	特になし	ハラスメントマニュアル
	学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか。		適宜必要となる規則・規程を策定整備し、これに基づいた運用を行	特になし	特になし	

			っている。			
	セクシャルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか。		ハラスメントマニュアルを策定し、これに基づいた運用を行っている。	特になし	特なし	
	教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置しているか。		教務部に窓口を設置し、適宜対応に当たっている。	特になし	特になし	
	教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか。		教員に対しては教職員会議の場で、学生に対しては学科にて適宜研修・教育を行っている。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令遵守を第一義に、規則・規程についても必要に応じて順次、整備を図っている。規則・規程についてはさらに整備を図る必要がある。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

９－33　個人情報保護

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか。	個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか。	4	規程に基づく運用を行っている。	特になし	特になし	個人情報保護方針 研修会資料
	大量の個人データを蓄積した電磁気録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか。		規程に基づく運用を行っている。	学校サーバーに対する不正アクセスの危険。	不正アクセス防止のさらなる強化。	

	学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏洩等の防止策を講じているか。		サイト管理者において情報漏洩防止策を講じている。	特になし	特になし	
	教職員・学生に個人情報管理に関する啓発および教育を実施しているか。		教職員には研修の機会を設けるとともに、学生には都度、啓発および教育を行っている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の保護については規定に基づいて徹底した管理を行っているが、複数サーバーの存在が不正アクセスの侵入口を増やしている原因となっている。不正アクセス防止のためのセキュリティは講じているが、進化する不正アクセスに対するさらなるセキュリティ強化が必要と考えられる。	経年劣化したサーバーの交換を必要とする。

記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩

９－34　学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか。	実施に関し、学則および規程等を整備し実施しているか。	4	自己評価の実施にかかる規程等を整備して実施している。	特になし。	特になし。	自己点検・自己評価に関する規程 評価スケジュール 自己評価報告書 結果公表資料
	実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取り組んでいるか。		教務部主導のもと、毎年度定期的に全学科、全部署で取り組んでいる。	特になし。	特になし。	
	評価結果に基づき、学校		評価結果をもとに改善	特になし。	特になし。	

	改善に取り組んでいるか。		に取り組んでいる。			
				記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
9-34-2 自己評価結果を公表しているか。	評価結果を報告書に取りまとめているか。	4	報告書を作成している。	特になし	特になし	自己点検・自己評価報告書
	評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか。		ホームページ上に公表している。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか。	実施に関し、学則および規程等を整備し実施しているか。	3	学校関係者評価に係る規程を整備して実施している。	特になし。	特になし。	学校関係者評価委員会に関する規程 学校関係者評価委員会議事録 結果公表資料
	実施のための組織体制を整備しているか。		学校関係者評価委員会を組織している。	特になし	特になし	
	設置課程･学科の関連業界等から委員を適切に選任しているか。		選任している。	各設置学科に関連した業界等から委員が選任されていない。	各設置学科に関連した業界等からの委員選任。	
	評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか。		評価結果をもとに改善に取り組んでいる。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか。	評価結果を報告書に取りまとめているか。	4	報告書を作成している。	特になし	特になし	学校関係者評価委員会議事録 学校関係者評価報告書
	評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか。		ホームページ上に公表している。	特になし	特になし	

	記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己評価および学校関係者評価がともにこれらに係る規程をもとに実施し、各評価に対して見直しを図るとともに年々課題の改善に取り組んでいる。	特になし

記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩

９－35　教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか。	学校の概要、教育内容、教職員等の教育情報を積極的に公開しているか。	4	学校ホームページや学校案内を用いて公開している。	特になし	特になし	学校ホームページ 学校案内
	学生、保護者、関連業界等広く社会に公開しているか。		学校ホームページや学校案内を用いて公開している。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の概要、教育内容、教職員の教育情報については学校ホームページ等を用いて広く公開できている。今後、学校ホームページ等の閲覧者の側に立って、教育情報についてより理解しやすいものへと改良することを心がけている。	特になし

記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩

基準 10　社会貢献・地域貢献【平均評定：３．３】

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか。	2	当該規程は整備されていない。	当該規程の整備を図る必要がある。	当該規程の整備。	学校施設貸与規程
	企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか。		実績がない。	教育プログラムの開発や共同研究にかかる連携要請がない。	該当しない。	
	国の機関からの委託研究および雇用促進事業について積極的に受託しているか。		受託していない。	雇用促進事業については本校の事情に合わせて受託している。	引き続き同様の取扱いとする。	
	学校施設・設備等を地域・関連業界・卒業生等に開放しているか。		関連業界から施設使用にかかる申出を受けて貸与している。	特になし	特になし	
	高等学校等が行うキャリア教育の実施に教員を派遣するなど積極的に協力・支援しているか。		高等学校からの要請に基づき教員を派遣している。	特になし	特になし	
	学校の実習施設を活用するなど高等学校の職業教育の実施に協力・支援しているか。		高等学校からの申出を受託するかたちで職業教育の実施に協力・支援している。	特になし	特になし	
	地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか。		地域の受講者等を対象とした講座は開講していない。	特になし	特になし	
	環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか。		市の清掃活動等に参加するなどして環境問題の解決にかかわっている。	特になし	特になし	
	教職員・学生に対し、重		特に取り組んでいな	教職員や学生が、重要	今後の検討課題とす	

	要な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修・教育に取り組んでいるか。		い。	な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修や教育に取り組む必要がある。	る。	
				記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか。	海外の教育機関との国際交流の推進に関する方針を定めているか。	4	定めている。	特になし	特になし	
	海外の教育機関と教職員の人事交流・共同研究等を行っているか。		今後、人事交流を図る予定である。	特になし	特になし	
	海外の教育機関と留学生の受入れ、派遣、研修の実施など交流を行っているか。		海外教育機関学生の研修受入れにより交流を図っている。	特になし	特になし	
	留学生の受入れのため、学修成果、教育目標を明確化し、体系的な教育課程の編成に取り組んでいるか。		留学生を対象とした学修成果、教育目標の明確化、体系的な教育課程の編成に取り組んでいる。	特になし	特になし	
	留学生の受入れを促進するために学校が行う教育課程、教育内容・方法等について国内外に積極的に情報発信を行っているか。		学校ホームページによる公開、海外事業部による広報活動によって情報発信に努めている。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活	ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励し	4	奨励している。	今年度は新型コロナウイルスの影響により社会活動に参加する機会	特になし。	ボランティアスタッフ募集関連受領文書

動支援を行っているか。	ているか。			が極めて少なかった。		
	活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか。		教務部が窓口となって、支援体制をとっている。	特になし。	特になし。	
	ボランティア活動実績を把握しているか。		把握している。	特になし	特になし	
	ボランティアの活動実績を評価しているか。		卒業年次に評価して、表彰を行うなどの措置を講じている。	特になし	特になし	
	ボランティアの活動結果を学内で共有しているか。		学内でボランティア活動結果の報告の機会を設けている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校施設・設備等の開放については学校安全の観点からこれに至っていないが、申請を経て審査の上、随時貸与のかたちを取っている。留学生数の増加に伴って、受入れ体制も整備されてきている。ボランティア活動については学生のみならず教職員も参加するようにしているが、授業日や授業時間帯と重なることによって公認欠席扱いとはするものの、学生の学修成果に不安を残す。	

記載責任者　職・氏名	副校長　　味　村　吉　浩